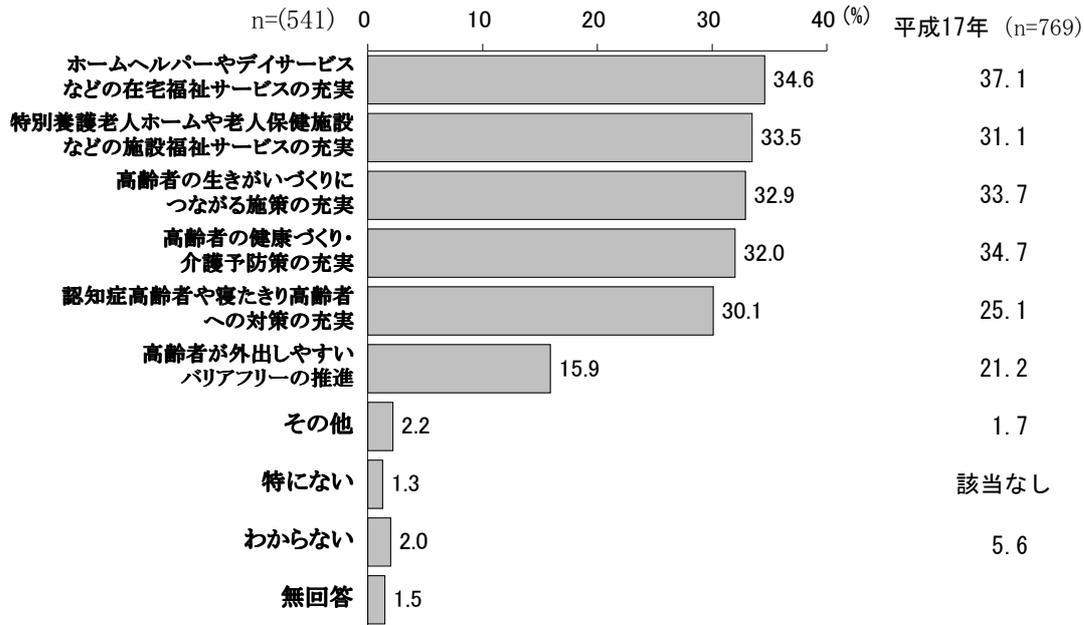


## 7. 高齢者福祉

### (1) 市に力をいれてほしい高齢者福祉施策

問14 高齢社会を迎え介護保険をはじめ、高齢福祉サービスの充実が求められている中、市に力をいれてほしい施策を、次の中から2つまで選んでください。(〇は2つまで)



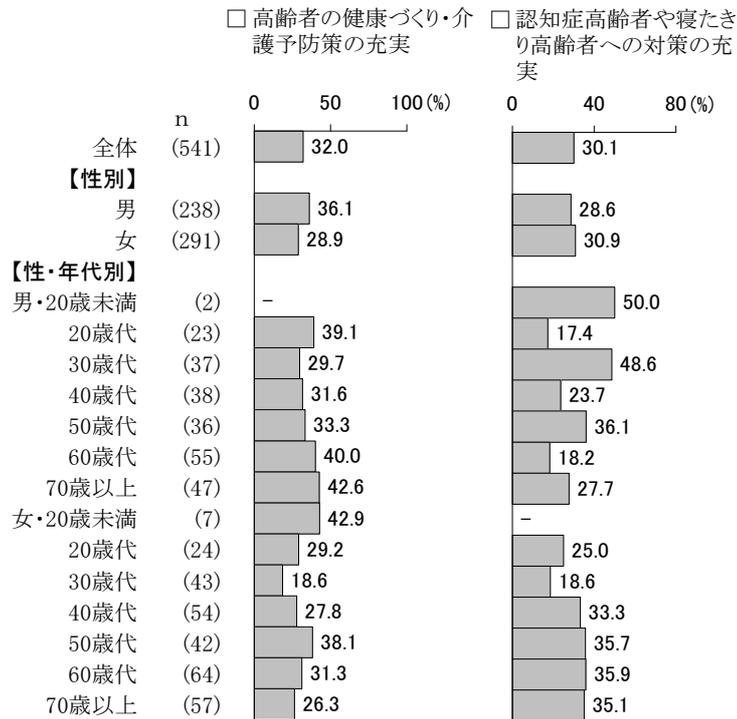
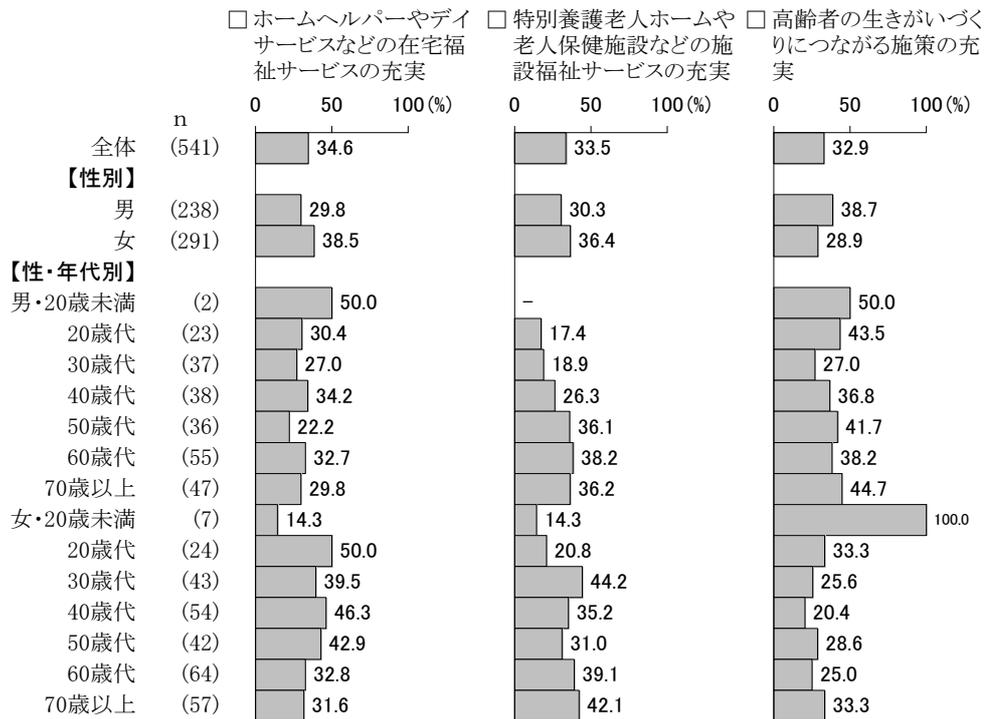
\* 「認知症高齢者や寝たきり高齢者への対策の充実」は、前回調査では「認知症高齢者や寝たきり高齢者への福祉サービスの充実」

\* 「特にない」は今回調査から

市に力をいれてほしい高齢者福祉施策は、「ホームヘルパーやデイサービスなどの在宅福祉サービスの充実」が34.6%で最も多いが、「特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設福祉サービスの充実」(33.5%)、「高齢者の生きがいがづくりにつながる施策の充実」(32.9%)、「高齢者の健康づくり・介護予防策の充実」(32.0%)、「認知症高齢者や寝たきり高齢者への対策の充実」(30.1%)はいずれも3割台と僅差で続いている。

前回調査と比較すると、「認知症高齢者や寝たきり高齢者への対策の充実」(30.1%)が前回(25.1%)から5ポイント増加している。一方、「高齢者が外出しやすいバリアフリーの推進」(15.9%)は前回(21.2%)から5ポイント減少している。

### 性別、性・年代別（上位5項目）

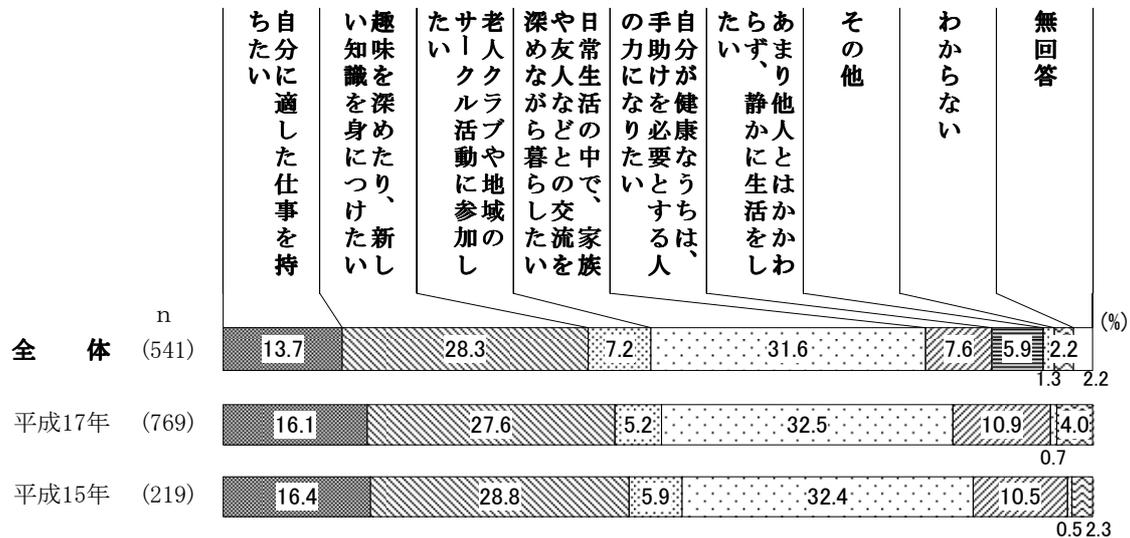


性別にみると、「ホームヘルパーやデイサービスなどの在宅福祉サービスの充実」は女性（38.5%）が男性（29.8%）を9ポイント、「特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設福祉サービスの充実」は女性（36.4%）が男性（30.3%）を6ポイント上回っている。一方、「高齢者の生きがいがいづくりにつながる施策の充実」は男性（38.7%）が女性（28.9%）を10ポイント、「高齢者の健康づくり・介護予防策の充実」は男性（36.1%）が女性（28.9%）を7ポイント上回っている。

性・年代別にみると、「ホームヘルパーやデイサービスなどの在宅福祉サービスの充実」は女性の20歳代から50歳代が多いが、60歳代以降では男女いずれも「特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設福祉サービスの充実」の方が多くなっている。また、男性70歳以上では「高齢者の生きがいをにつなげる施策の充実」が44.7%、「高齢者の健康づくり・介護予防策の充実」が42.6%となるなど、高齢層からは生きがいや健康づくりに対するニーズも大きい。「認知症高齢者や寝たきり高齢者への対策の充実」は男性では年代によってばらつきがみられるが、女性では40歳代以降で一貫して3割台となっている。

## (2) 老後の暮らし方

問15 あなたは老後をどのように暮らしていきたいと思えますか。次の中からあなたのお考えに最も近いものを、選んでください。(〇は1つ)

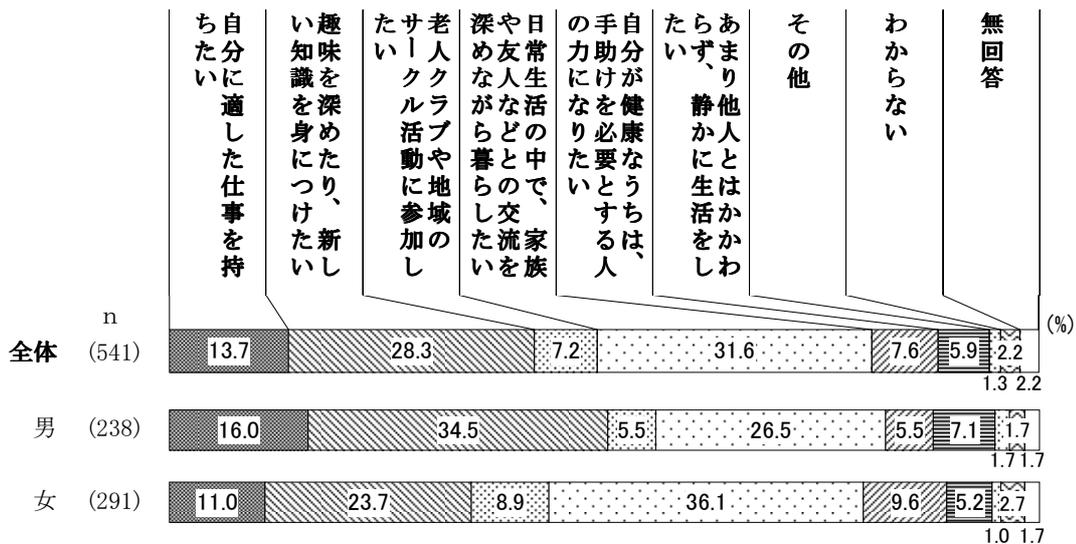


\* 「あまり他人とはかかわらず、静かに生活をしたい」は今回調査から

老後の暮らし方では、「日常生活の中で、家族や友人などとの交流を深めながら暮らしたい」が31.6%で最も多く、「趣味を深めたり、新しい知識を身につけたい」が28.3%でこれに続いている。「自分に適した仕事を持ちたい」も13.7%みられる。

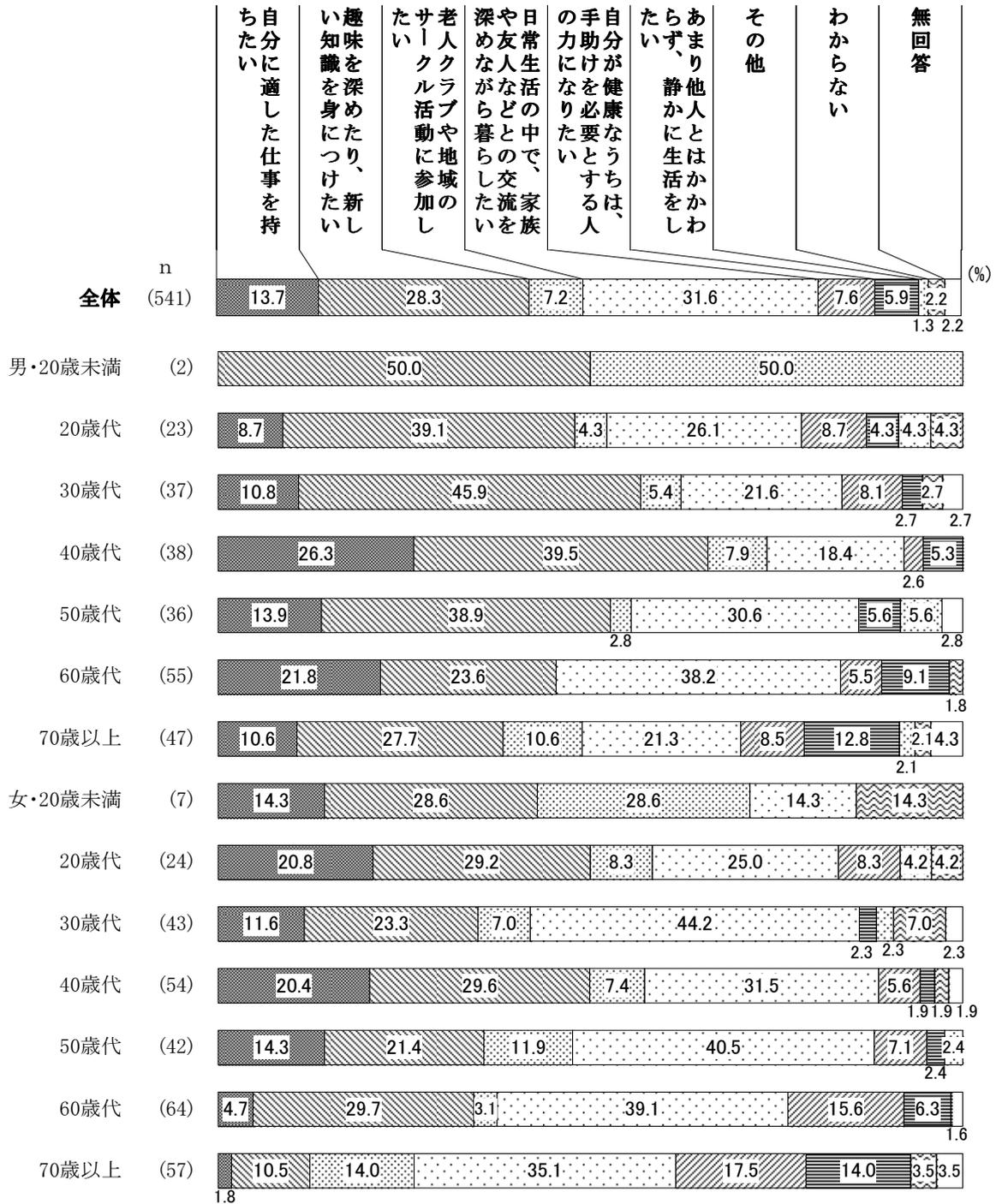
過去の調査との比較では、特に大きな差はみられない。

### 性別



性別にみると、「趣味を深めたり、新しい知識を身につけたい」は男性（34.5%）が女性（23.7%）を11ポイント上回り、「自分に適した仕事を持ちたい」も男性が多い。「日常生活の中で、家族や友人などとの交流を深めながら暮らしたい」は女性（36.1%）が男性（26.5%）を10ポイント上回っている。

## 性・年代別



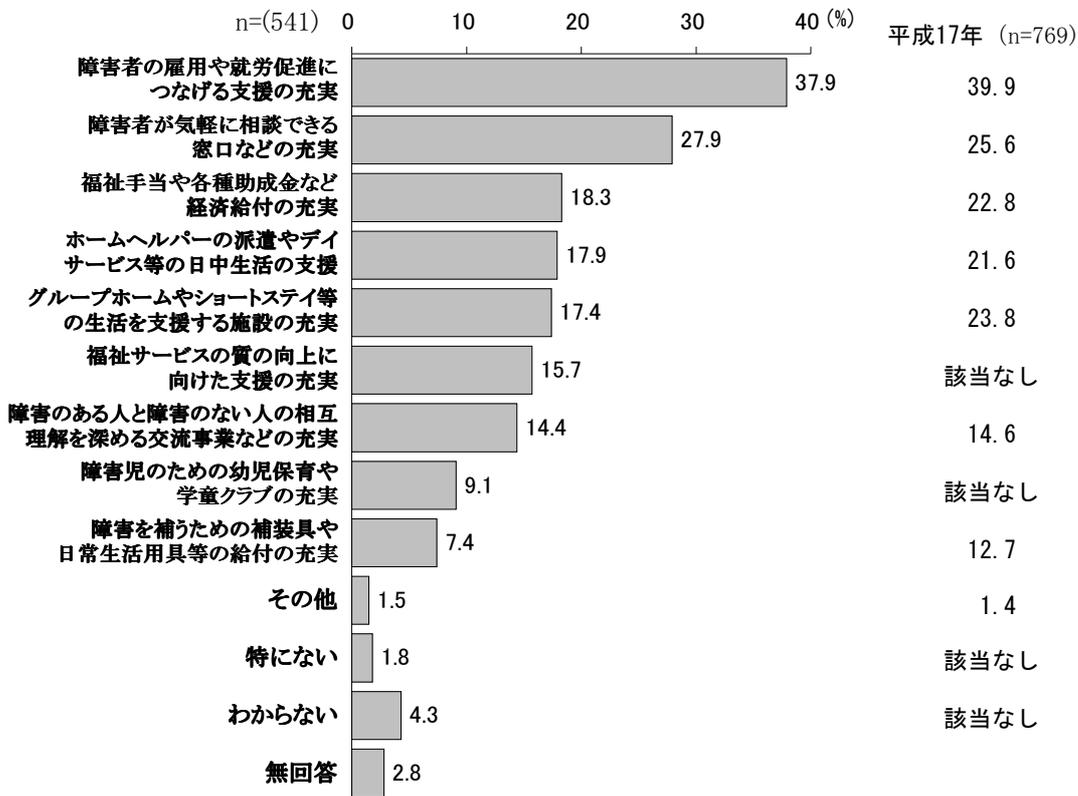
性・年代別にみると、男性では50歳代までは「趣味を深めたり、新しい知識を身につけたい」が多いが、60歳代では「自分に適した仕事を持ちたい」、「趣味を深めたり、新しい知識を身につけたい」、「日常生活の中で、家族や友人などとの交流を深めながら暮らしたい」に分散し、中でも「日常生活の中で、家族や友人などとの交流を深めながら暮らしたい」が4割近くと多くなっている。また、70歳以上では「自分に適した仕事を持ちたい」が減少し、「老人クラブや地域のサークル活動に参加したい」、「自分が健康なうちは、手助けを必要とする人の力になりたい」や「あまり他人とはかかわらず、静かに生活をしたい」といった意見が比較的増えている。一方、女性は「日常生活の中で、家族や友

人などとの交流を深めながら暮らしたい」の占める割合が多い傾向にある。また、70歳以上は男性と同様に「老人クラブや地域のサークル活動に参加したい」、「自分が健康なうちは、手助けを必要とする人の力になりたい」や「あまり他人とはかかわらず、静かに生活をしたい」という意見が多くなっている。

## 8. 障害者福祉

### (1) 必要な障害者福祉施策

問16 市として、今後どのような障害者福祉施策が必要と思いますか。次の中から2つまで選んでください。(〇は2つまで)

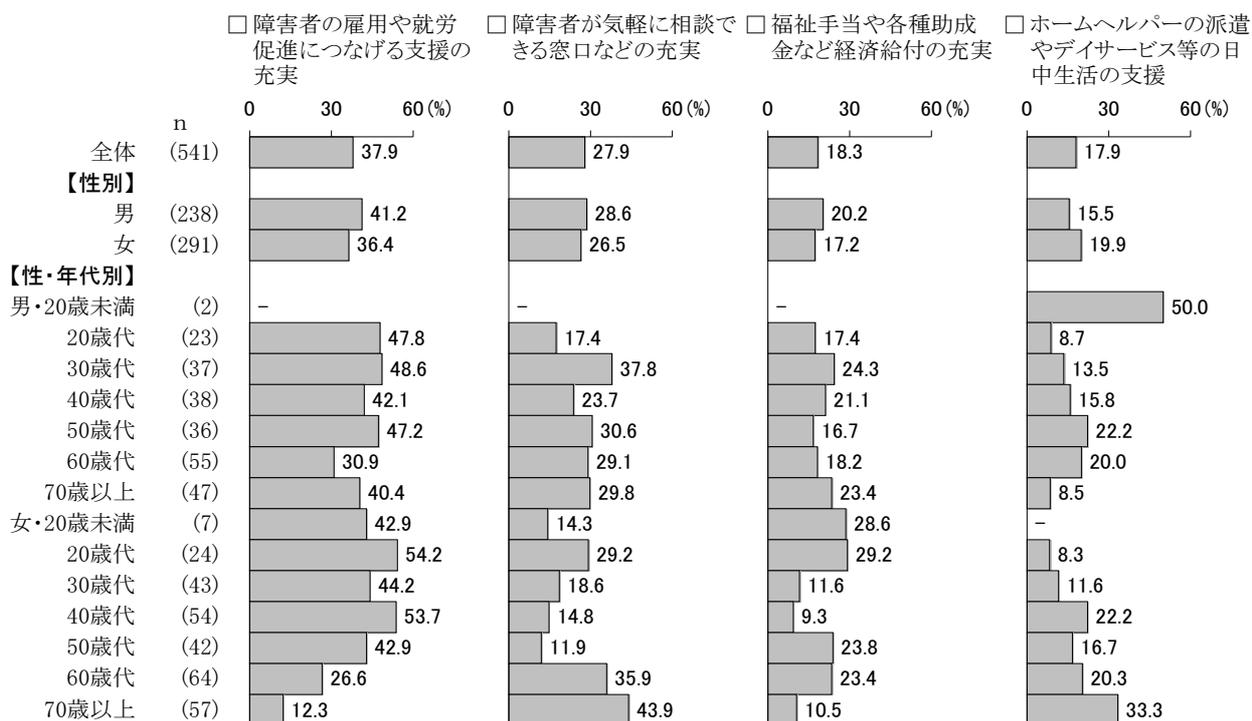


- \* 「障害者の雇用や就労促進につなげる支援の充実」は、前回調査では「障害者が安心して働ける職場の確保」
- \* 「障害者が気軽に相談できる窓口などの充実」は、前回調査では「障害者に関する相談や指導を行う窓口の充実」
- \* 「福祉手当や各種助成金など経済給付の充実」は、前回調査では「各種福祉手当の充実」
- \* 「ホームヘルパーの派遣やデイサービス等の日中生活の支援」は、前回調査では「ホームヘルパーの派遣等の居宅介護支援事業の充実」
- \* 「グループホームやショートステイ等の生活を支援する施設の充実」は、前回調査では「病気や旅行などで介護ができないときのための一時保護施設の充実」
- \* 「障害のある人と障害のない人の相互理解を深める交流事業などの充実」は、前回調査では「障害者と健常者の相互理解を進めるための交流事業の実施」
- \* 「障害を補うための補装具や日常生活用具等の給付の充実」は、前回調査では「生活用具給付等による日常生活の援助」
- \* 前回調査の「障害者向け住宅改造の支援」(14.6%)、「民間福祉施設の充実」(10.3%)は今回調査では該当項目なし
- \* 「福祉サービスの質の向上に向けた支援の充実」、「障害児のための幼児保育や学童クラブの充実」、「特になし」、「わからない」は今回調査より

今後どのような障害者福祉施策が必要かでは、「障害者の雇用や就労促進につなげる支援の充実」が37.9%で最も多く、以下、「障害者が気軽に相談できる窓口などの充実」(27.9%)、「福祉手当や各種助成金など経済給付の充実」(18.3%)、「ホームヘルパーの派遣やデイサービス等の日中生活の支援」(17.9%)、「グループホームやショートステイ等の生活を支援する施設の充実」(17.4%)などが続いている。

前回調査と比較すると、選択肢の文言や数が異なっているため、参考程度となるが、前回調査と同じ意味合いを持つ選択肢での比較では多くの項目で減少となっている。

### 性別、性・年代別（上位4項目）



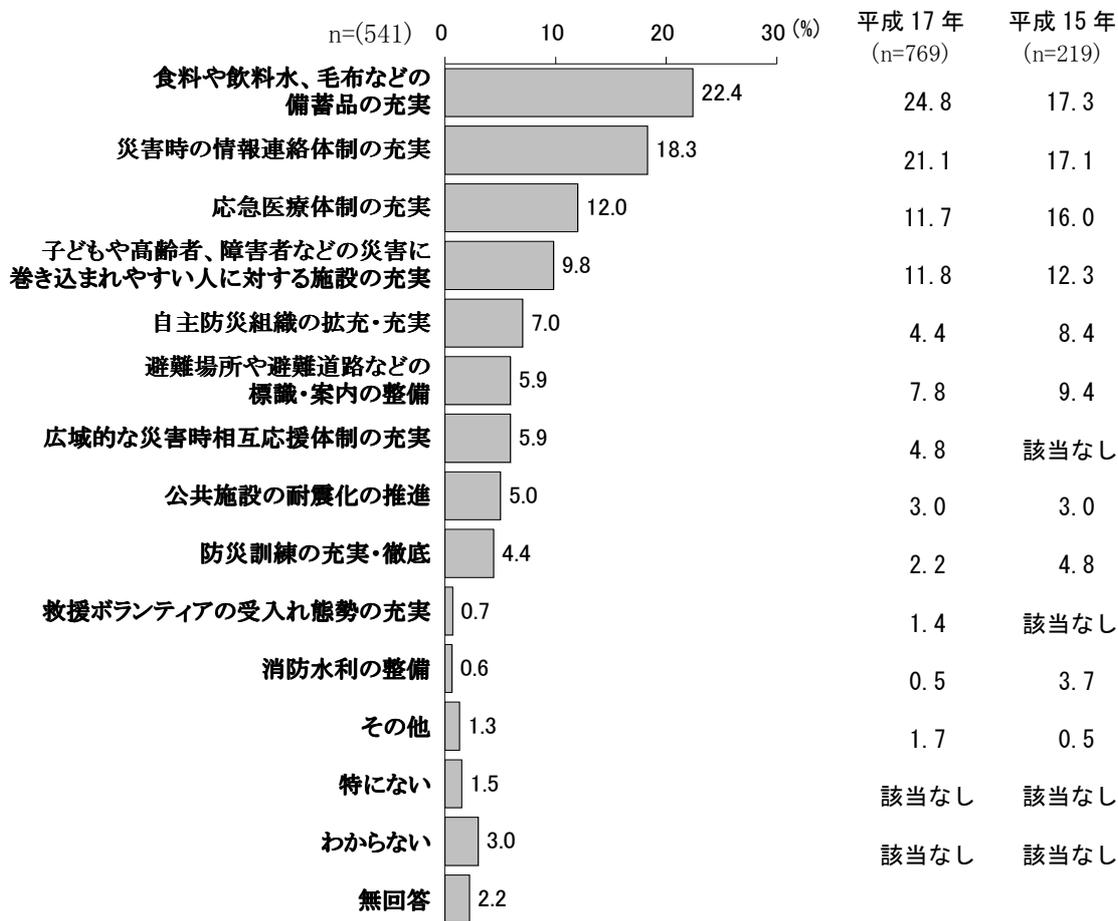
性別にみると、「障害者の雇用や就労促進につなげる支援の充実」は男性（41.2%）が女性（36.4%）を5ポイント上回り、「ホームヘルパーの派遣やデイサービス等の日中生活の支援」は女性が男性をやや上回っている。

性・年代別にみると、「障害者の雇用や就労促進につなげる支援の充実」は男女とも50歳代までで特に多い。「障害者が気軽に相談できる窓口などの充実」は、男性の30歳代、女性の60歳代以降で多くなっている。

## 9. 防災・防犯対策

### (1) 防災対策で重点をおいて進めるべきもの

問17 防災対策の中で市が特に重点をおいて進めるべきだと思うものを、次の中から選んでください。(〇は1つ)



- \* 平成15年の調査は2つまでの複数回答
- \* 「救援ボランティアの受入れ態勢の充実」、「広域的な災害時相互応援体制の充実」は平成17年から
- \* 「特にない」、「わからない」は今回調査から

防災対策の中で市が特に重点をおいて進めるべきものは、「食料や飲料水、毛布などの備蓄品の充実」が22.4%で最も多く、「災害時の情報連絡体制の充実」(18.3%)と「応急医療体制の充実」(12.0%)が1割台となっている。

過去の調査と比較すると、前回とは大きな差はみられない。

## 性別、性・年代別

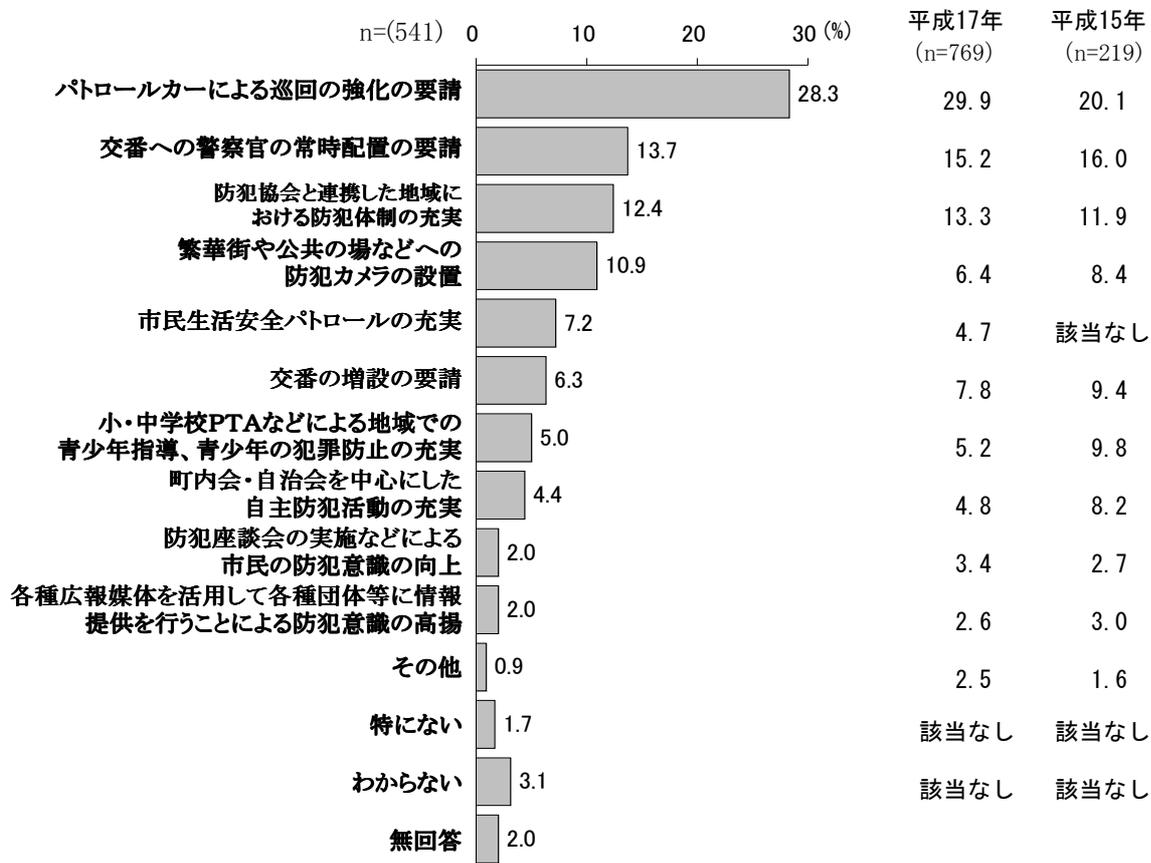
	調査数	備蓄品や飲料水の充実 毛布などの	災害時の情報連絡体制の充実	応急医療体制の充実	子どもや高齢者、障害者など の災害に巻き込まれやすい 人に対する施設の充実	自主防災組織の拡充・充実	避難場所や避難道路などの 標識・案内の整備	広域的な災害時相互応援体 制の充実	公共施設の耐震化の推進	防災訓練の充実・徹底	救援ボランティアの受入れ 態勢の充実	消防水利の整備	その他	特にない	わからない	無回答
全体	541	22.4	18.3	12.0	9.8	7.0	5.9	5.9	5.0	4.4	0.7	0.6	1.3	1.5	3.0	2.2
<b>【性別】</b>																
男	238	22.7	19.7	11.3	8.4	8.0	8.0	5.9	3.8	5.5	0.8	1.3	1.7	1.3	-	1.7
女	291	22.3	17.5	12.7	11.0	6.5	3.8	6.2	6.2	3.8	0.7	-	1.0	1.7	4.8	1.7
<b>【性・年代別】</b>																
男・20歳未満	2	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20歳代	23	34.8	17.4	8.7	8.7	8.7	4.3	4.3	-	8.7	-	-	-	4.3	-	-
30歳代	37	16.2	24.3	5.4	10.8	2.7	13.5	2.7	8.1	5.4	-	2.7	-	2.7	-	5.4
40歳代	38	23.7	18.4	10.5	2.6	13.2	7.9	7.9	2.6	7.9	-	5.3	-	-	-	-
50歳代	36	22.2	19.4	19.4	-	2.8	8.3	11.1	8.3	2.8	-	-	2.8	-	-	2.8
60歳代	55	23.6	18.2	10.9	12.7	7.3	12.7	3.6	1.8	1.8	3.6	-	3.6	-	-	-
70歳以上	47	17.0	21.3	12.8	12.8	12.8	-	6.4	2.1	8.5	-	-	2.1	2.1	-	2.1
女・20歳未満	7	28.6	14.3	-	14.3	14.3	14.3	14.3	-	-	-	-	-	-	-	-
20歳代	24	37.5	-	16.7	4.2	4.2	12.5	-	4.2	12.5	-	-	-	-	8.3	-
30歳代	43	34.9	11.6	9.3	11.6	4.7	-	2.3	9.3	2.3	-	-	2.3	-	9.3	2.3
40歳代	54	25.9	14.8	13.0	11.1	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	1.9	-	-	-	5.6	-
50歳代	42	14.3	19.0	11.9	4.8	19.0	-	11.9	7.1	4.8	-	-	-	-	4.8	2.4
60歳代	64	18.8	26.6	14.1	7.8	3.1	3.1	3.1	9.4	1.6	1.6	-	1.6	6.3	1.6	1.6
70歳以上	57	12.3	21.1	14.0	21.1	3.5	3.5	10.5	1.8	1.8	-	-	1.8	1.8	3.5	3.5

性別では特に大きな差はみられないが、「避難場所や避難道路などの標識・案内の整備」は男性の方が女性よりやや多い。

性・年代別にみても、「食料や飲料水、毛布などの備蓄品の充実」、「災害時の情報連絡体制の充実」、「応急医療体制の充実」は各年代で多くあげられており、共通した認識となっている。その他、「子どもや高齢者、障害者などの災害に巻き込まれやすい人に対する施設の充実」は男女とも70歳以上で比較的多く、特に女性の70歳以上で2割台となっている。また、「自主防災組織の拡充・充実」は女性50歳代で19.0%と特に多い。

(2) 防犯対策で重点をおいて進めるべきもの

問18 防犯対策の中で市が特に重点をおいて進めるべきだと思うものを、次の中から選んでください。(〇は1つ)



- \* 平成15年の調査は2つまでの複数回答
- \* 「市民生活安全パトロールの充実」は平成17年から
- \* 「特になし」、「わからない」は今回調査から

防犯対策の中で市が特に重点をおいて進めるべきだと思うものは、「パトロールカーによる巡回の強化の要請」が28.3%で最も多く、「交番への警察官の常時配置の要請」(13.7%)、「防犯協会と連携した地域における防犯体制の充実」(12.4%)、「繁華街や公共の場などへの防犯カメラの設置」(10.9%)が1割台となっている。

過去の調査との比較では特に大きな差はみられないが、「繁華街や公共の場などへの防犯カメラの設置」(10.9%)は前回(6.4%)から5ポイント増加している。

## 性別、性・年代別

(%)

	調査数	パトロールカーによる巡回の強化の要請	交番への警察官の常時配置の要請	防犯協会と連携した地域における防犯体制の充実	繁華街や公共の場などへの防犯カメラの設置	市民生活安全パトロールの充実	交番の増設の要請	小・中学校PTAなどによる地域での青少年指導、青少年の犯罪防止の充実	町内会・自治会を中心にした自主防犯活動の充実	防犯座談会の実施などによる市民の防犯意識の向上	各種団体等による防犯意識の高揚	各種広報媒体を活用して各	その他	特にな	わからない	無回答
全体	541	28.3	13.7	12.4	10.9	7.2	6.3	5.0	4.4	2.0	2.0	0.9	1.7	3.1	2.0	
<b>【性別】</b>																
男	238	25.6	17.2	12.2	10.9	4.6	7.1	6.3	7.1	2.1	1.3	0.4	2.1	1.7	1.3	
女	291	30.2	11.3	13.1	11.0	9.6	5.5	4.1	2.4	1.7	2.7	1.4	1.4	3.8	1.7	
<b>【性・年代別】</b>																
男・20歳未満	2	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
20歳代	23	34.8	13.0	13.0	-	4.3	13.0	13.0	-	-	-	4.3	4.3	-	-	
30歳代	37	24.3	21.6	13.5	8.1	2.7	-	8.1	2.7	5.4	-	-	5.4	5.4	2.7	
40歳代	38	31.6	10.5	13.2	15.8	2.6	10.5	2.6	5.3	5.3	2.6	-	-	-	-	
50歳代	36	25.0	22.2	11.1	13.9	2.8	8.3	8.3	5.6	-	-	-	-	-	2.8	
60歳代	55	18.2	12.7	12.7	12.7	12.7	9.1	5.5	9.1	-	1.8	-	1.8	3.6	-	
70歳以上	47	25.5	21.3	10.6	10.6	-	4.3	4.3	14.9	2.1	2.1	-	2.1	-	2.1	
女・20歳未満	7	-	14.3	28.6	-	14.3	14.3	14.3	-	14.3	-	-	-	-	-	
20歳代	24	41.7	4.2	16.7	4.2	8.3	-	-	4.2	-	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	
30歳代	43	30.2	11.6	16.3	9.3	7.0	9.3	-	-	-	4.7	2.3	-	7.0	2.3	
40歳代	54	35.2	9.3	11.1	13.0	9.3	5.6	1.9	1.9	3.7	1.9	-	-	7.4	-	
50歳代	42	31.0	9.5	11.9	16.7	11.9	4.8	4.8	2.4	-	2.4	2.4	-	2.4	-	
60歳代	64	42.2	15.6	9.4	12.5	4.7	1.6	6.3	1.6	-	-	1.6	1.6	1.6	1.6	
70歳以上	57	10.5	12.3	14.0	8.8	15.8	8.8	7.0	5.3	3.5	5.3	-	3.5	1.8	3.5	

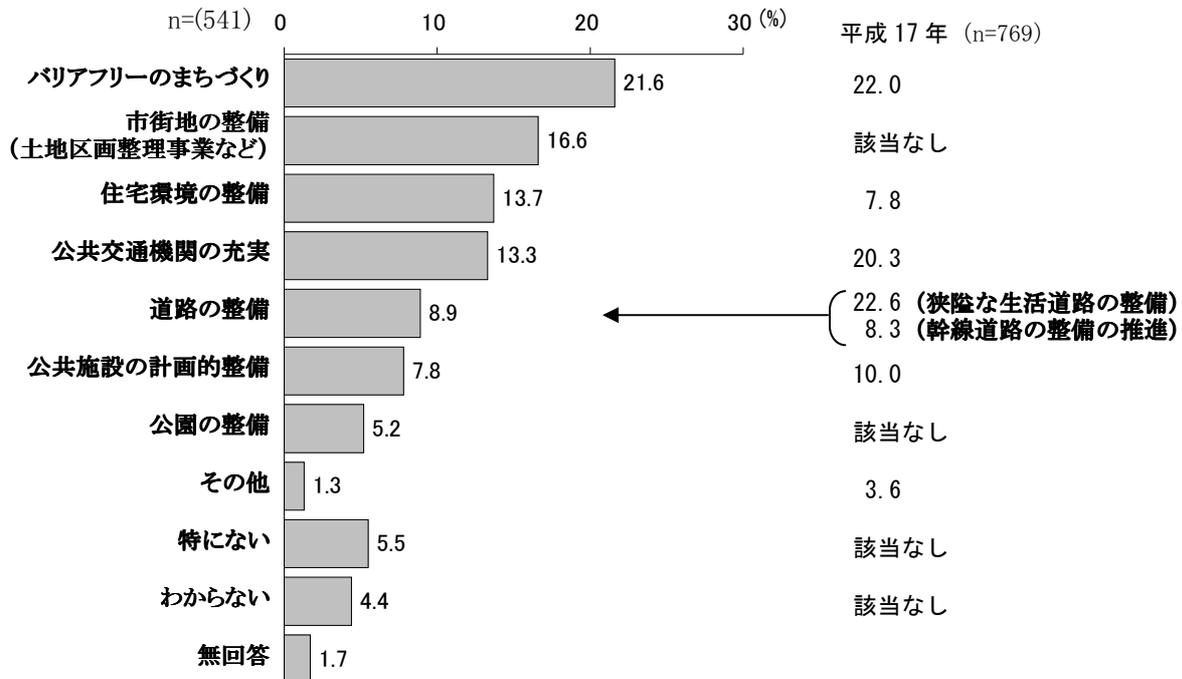
性別にみると、「交番への警察官の常時配置の要請」、「町内会・自治会を中心にした自主防犯活動の充実」は男性が女性を、「市民生活安全パトロールの充実」、「パトロールカーによる巡回の強化の要請」は女性が男性をそれぞれ5ポイント以上上回っている。

性・年代別にみても、「パトロールカーによる巡回の強化の要請」、「交番への警察官の常時配置の要請」、「防犯協会と連携した地域における防犯体制の充実」は各年代で多くあげられており、共通した認識となっている。この他では、「繁華街や公共の場などへの防犯カメラの設置」は男女とも40歳代から60歳代で比較的多く、「市民生活安全パトロールの充実」は男性の60歳代、女性の70歳以上で、「小・中学校PTAなどによる地域での青少年指導、青少年の犯罪防止の充実」は男性の20歳代で比較的多くあげられている。

## 10. 都市基盤

### (1) 市の都市基盤整備に望むこと

問19 今後、羽村市の都市基盤の整備をどのように望みますか。次の中から選んでください。  
(○は1つ)



- \* 「バリアフリーのまちづくり」は、前回調査では「バリアフリーの道路整備」
- \* 「公共施設の計画的整備」は、前回調査では「公共施設の計画的整備の推進」
- \* 「住宅環境の整備」は、前回調査では「住宅政策の推進」
- \* 「道路の整備」は、前回調査では「幹線道路の整備の推進」および「狭隘な生活道路の整備」
- \* 「市街地の整備（土地区画整理事業など）」、「公園の整備」、「特になし」、「わからない」は今回調査から

今後、羽村市の都市基盤の整備をどのように望むかでは、「バリアフリーのまちづくり」が21.6%で最も多く、「市街地の整備（土地区画整理事業など）」（16.6%）、「住宅環境の整備」（13.7%）、「公共交通機関の充実」（13.3%）が1割台となっている。

前回調査と比較すると、比較可能な項目では「公共交通機関の充実」（13.3%）が前回（20.3%）から7ポイント減少、「住宅環境の整備」（13.7%）が前回（7.8%）から6ポイント増加している。

## 性別、性・年代別

(%)

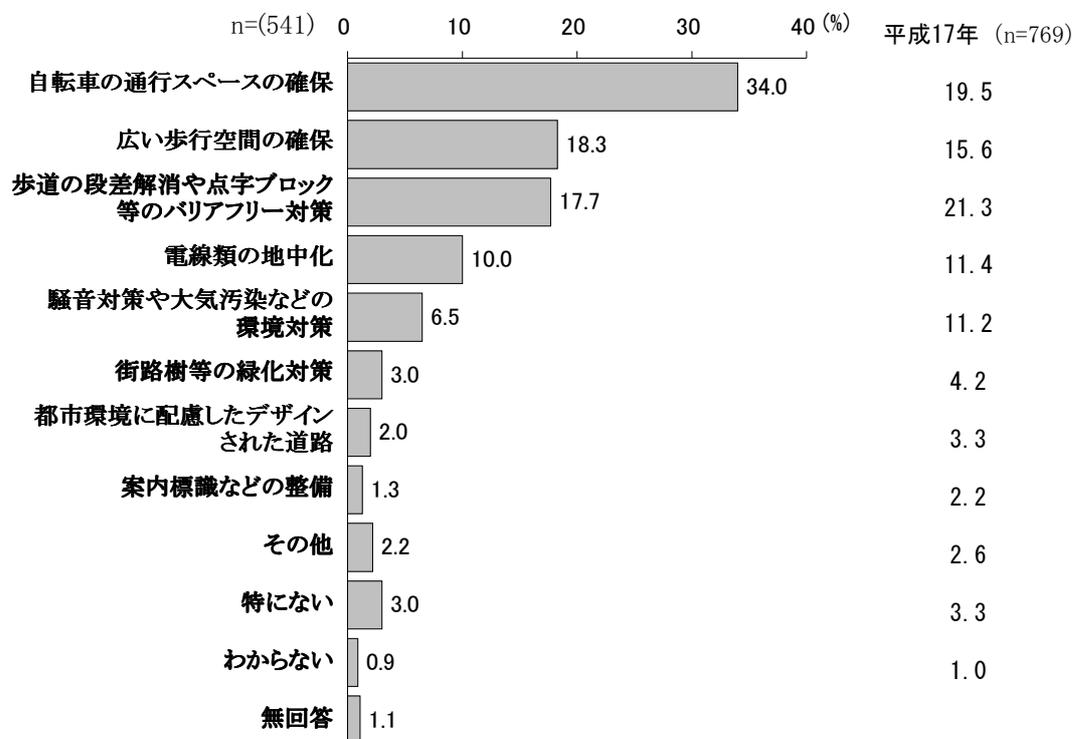
	調査数	バリアフリーのまちづくり	市街地の整備（土地区画整理事業など）	住宅環境の整備	公共交通機関の充実	道路の整備	公共施設の計画的整備	公園の整備	その他	特にない	わからない	無回答
全体	541	21.6	16.6	13.7	13.3	8.9	7.8	5.2	1.3	5.5	4.4	1.7
【性別】												
男	238	20.2	18.5	16.4	11.8	8.4	10.9	3.8	1.3	4.6	3.4	0.8
女	291	23.0	15.1	12.0	14.4	9.6	5.5	5.8	1.4	5.8	5.2	2.1
【性・年代別】												
男・20歳未満	2	50.0	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-
20歳代	23	13.0	21.7	8.7	13.0	13.0	17.4	4.3	-	4.3	4.3	-
30歳代	37	18.9	16.2	10.8	10.8	10.8	13.5	8.1	-	8.1	-	2.7
40歳代	38	28.9	21.1	13.2	10.5	2.6	7.9	2.6	2.6	5.3	5.3	-
50歳代	36	19.4	11.1	27.8	16.7	5.6	16.7	-	-	2.8	-	-
60歳代	55	20.0	16.4	21.8	5.5	10.9	9.1	3.6	1.8	3.6	5.5	1.8
70歳以上	47	17.0	25.5	12.8	14.9	8.5	6.4	4.3	2.1	4.3	4.3	-
女・20歳未満	7	28.6	14.3	28.6	14.3	-	-	-	-	14.3	-	-
20歳代	24	41.7	16.7	12.5	8.3	4.2	-	8.3	-	4.2	4.2	-
30歳代	43	20.9	11.6	9.3	16.3	16.3	7.0	11.6	-	2.3	4.7	-
40歳代	54	14.8	18.5	11.1	22.2	9.3	3.7	7.4	-	5.6	5.6	1.9
50歳代	42	31.0	16.7	14.3	-	9.5	9.5	7.1	2.4	4.8	4.8	-
60歳代	64	18.8	18.8	9.4	17.2	10.9	1.6	4.7	3.1	7.8	4.7	3.1
70歳以上	57	22.8	8.8	14.0	15.8	7.0	10.5	-	1.8	7.0	7.0	5.3

性別では特に大きな差はみられないが、「公共施設の計画的整備」、「住宅環境の整備」は男性が女性をやや上回っている。

性・年代別にみると、「バリアフリーのまちづくり」や「市街地の整備（土地区画整理事業など）」は男女とも多くの年代からあげられている。また、男性30歳代から40歳代では「バリアフリーのまちづくり」とともに「市街地の整備（土地区画整理事業など）」が、50歳代から60歳代では「住宅環境の整備」が多くなっており、力点が異なっている面も見受けられる。女性では20歳代と50歳代で「バリアフリーのまちづくり」を望む声が特に強く、20歳代では41.7%に達している。また、30歳代から40歳代では「バリアフリーのまちづくり」とともに、「公共交通機関の充実」や「道路の整備」、「公園の整備」を望む声が多くなっている。

## (2) 市の道路整備で優先すべきもの

問20 今後、市の道路整備について何を優先すべきですか。次の中から選んでください。(○は1つ)



今後、市の道路整備で優先すべきことは、「自転車の通行スペースの確保」が34.0%で最も多く、「広い歩行空間の確保」(18.3%)、「歩道の段差解消や点字ブロック等のバリアフリー対策」(17.7%)、「電線類の地中化」(10.0%)が1割台となっている。

前回の調査と比較すると、「自転車の通行スペースの確保」(34.0%)が前回(19.5%)から15ポイント増加し、前回最も多かった「歩道の段差解消や点字ブロック等のバリアフリー対策」を上回った。また、「騒音対策や大気汚染などの環境対策」(6.5%)が前回(11.2%)から5ポイント減少となっている。

性別、性・年代別

(%)

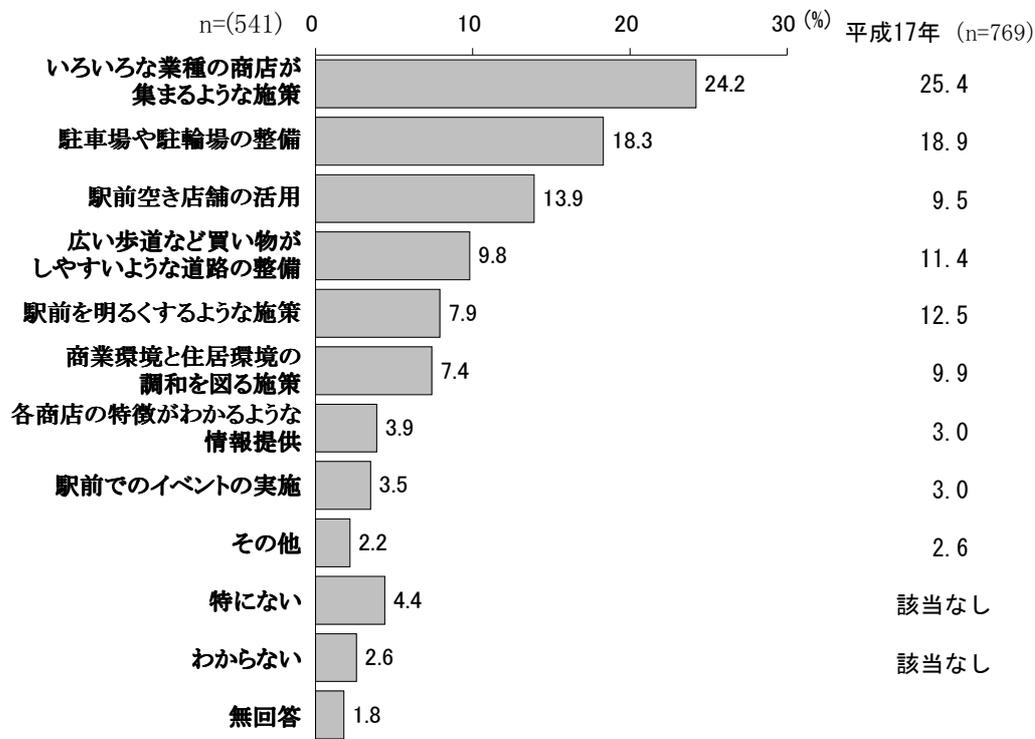
	調査数	自転車の通行スペースの確保	広い歩行空間の確保	点字ブロック等のバリアフリー対策	歩道の段差解消や点字ブロック等の対策	電線類の地中化	騒音対策や大気汚染などの環境対策	街路樹等の緑化対策	道路デザインされた都市環境に配慮したデザインされた	案内標識などの整備	その他	特にない	わからない	無回答
全体	541	34.0	18.3	17.7	10.0	6.5	3.0	2.0	1.3	2.2	3.0	0.9	1.1	
【性別】														
男	238	27.7	17.2	19.7	16.4	8.0	2.9	2.1	2.1	1.7	1.3	0.4	0.4	
女	291	40.2	19.2	16.2	4.5	5.5	3.1	1.7	0.7	2.7	3.8	1.0	1.4	
【性・年代別】														
男・20歳未満	2	-	-	-	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	
20歳代	23	8.7	26.1	26.1	4.3	21.7	-	-	4.3	4.3	4.3	-	-	
30歳代	37	21.6	29.7	16.2	16.2	5.4	2.7	2.7	-	-	2.7	2.7	-	
40歳代	38	28.9	13.2	15.8	15.8	10.5	2.6	5.3	5.3	2.6	-	-	-	
50歳代	36	38.9	19.4	11.1	16.7	5.6	8.3	-	-	-	-	-	-	
60歳代	55	40.0	14.5	16.4	16.4	5.5	-	1.8	1.8	1.8	-	-	1.8	
70歳以上	47	19.1	8.5	34.0	21.3	4.3	4.3	2.1	2.1	2.1	2.1	-	-	
女・20歳未満	7	14.3	14.3	28.6	-	-	14.3	14.3	-	14.3	-	-	-	
20歳代	24	33.3	4.2	16.7	-	16.7	8.3	-	-	4.2	16.7	-	-	
30歳代	43	34.9	23.3	23.3	2.3	4.7	4.7	2.3	-	2.3	2.3	-	-	
40歳代	54	51.9	22.2	16.7	1.9	1.9	-	1.9	-	1.9	-	1.9	-	
50歳代	42	50.0	14.3	16.7	2.4	7.1	2.4	4.8	-	-	-	2.4	-	
60歳代	64	37.5	21.9	9.4	9.4	6.3	1.6	-	1.6	3.1	6.3	1.6	1.6	
70歳以上	57	35.1	21.1	15.8	7.0	3.5	3.5	-	1.8	3.5	3.5	-	5.3	

性別にみると、「電線類の地中化」は男性（16.4%）が女性（4.5%）を12ポイント、「自転車の通行スペースの確保」は女性（40.2%）が男性（27.7%）を13ポイント上回っており、この2項目は意見違いが顕著である。

性・年代別にみると、「自転車の通行スペースの確保」は男性20歳代から30歳代と70歳以上を除く各年代で最も多く、女性40歳代から50歳代では5割台に達している。一方、男性20歳代から30歳代はむしろ「広い歩行空間の確保」、男性70歳以上は「歩道の段差解消や点字ブロック等のバリアフリー対策」を望む声の方が多くなっている。

### (3) 市の活性化のために必要な施策

問21 今後、活力に満ちた賑わいのある街を目指すため、羽村・小作両駅・市役所通り周辺に必要な施策を、次の中から選んでください。(○は1つ)



\* 「特にない」、「わからない」は今回調査から

今後、活力に満ちた賑わいのある街を目指すため、羽村・小作両駅・市役所通り周辺に必要な施策は、「いろいろな業種の商店が集まるような施策」が24.2%で最も多く、「駐車場や駐輪場の整備」(18.3%)、「駅前空き店舗の活用」(13.9%)が1割台となっている。

前回調査と比較すると、上位2項目に変化はないが、「駅前空き店舗の活用」がやや増加し、「駅前を明るくするような施策」(7.9%)が前回(12.5%)から5ポイント減少となっている。

性別、性・年代別

(%)

	調査数	いろいろな業種の商店が集まるような施策	いろいろな業種の商店が集まるような施策	駐車場や駐輪場の整備	駅前空き店舗の活用	物が歩道など買いやすいよう整備	駅前を明るくするような施策	商業環境と住居環境の調和を図る施策	供えるような情報提供	各商店の特徴がわかるような情報提供	駅前でのイベントの実施	その他	特にない	わからない	無回答
全体	541	24.2	18.3	13.9	9.8	7.9	7.4	3.9	3.5	2.2	4.4	2.6	1.8		
【性別】															
男	238	22.7	19.3	11.3	9.2	11.3	10.9	1.7	3.8	2.1	3.8	2.5	1.3		
女	291	25.8	17.5	16.5	9.6	5.5	4.8	5.8	3.4	2.4	4.1	2.4	2.1		
【性・年代別】															
男・20歳未満	2	50.0	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-		
20歳代	23	26.1	8.7	13.0	8.7	21.7	8.7	4.3	-	4.3	4.3	-	-		
30歳代	37	18.9	24.3	13.5	10.8	18.9	8.1	-	2.7	-	2.7	-	-		
40歳代	38	28.9	15.8	15.8	10.5	7.9	5.3	2.6	7.9	-	2.6	2.6	-		
50歳代	36	30.6	11.1	11.1	8.3	11.1	13.9	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	-		
60歳代	55	18.2	23.6	9.1	7.3	7.3	9.1	-	7.3	3.6	5.5	7.3	1.8		
70歳以上	47	17.0	25.5	8.5	10.6	8.5	19.1	2.1	-	-	4.3	-	4.3		
女・20歳未満	7	14.3	28.6	14.3	-	14.3	-	-	14.3	-	-	-	14.3		
20歳代	24	20.8	16.7	16.7	8.3	-	-	4.2	16.7	8.3	4.2	4.2	-		
30歳代	43	34.9	16.3	16.3	4.7	7.0	4.7	7.0	-	2.3	4.7	2.3	-		
40歳代	54	27.8	20.4	22.2	9.3	5.6	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	5.6	-		
50歳代	42	16.7	19.0	14.3	14.3	7.1	9.5	7.1	4.8	4.8	-	2.4	-		
60歳代	64	29.7	17.2	12.5	7.8	6.3	4.7	4.7	1.6	1.6	9.4	1.6	3.1		
70歳以上	57	22.8	14.0	17.5	14.0	3.5	7.0	10.5	1.8	-	3.5	-	5.3		

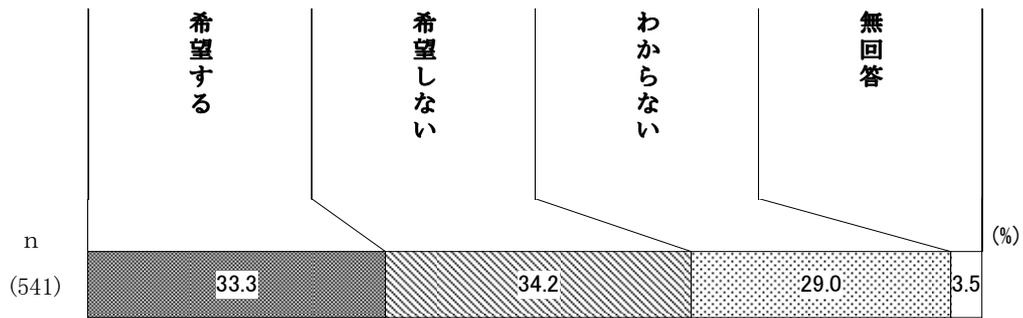
性別にみると、「商業環境と住居環境の調和を図る施策」、「駅前を明るくするような施策」は男性が女性をそれぞれ6ポイント上回り、「駅前空き店舗の活用」、「各商店の特徴がわかるような情報提供」は女性が男性をそれぞれ4ポイント以上上回っている。

性・年代別にみると、男性では「いろいろな業種の商店が集まるような施策」が40歳代から50歳代で3割前後と多くなっている。また、「駐車場や駐輪場の整備」が30歳代と60歳台以降で25%程度と多い他、20歳代から30歳代で「駅前を明るくするような施策」が2割前後と比較的多くあげられている。一方、女性では「いろいろな業種の商店が集まるような施策」が30歳代の34.9%をはじめ比較的多くの年代で支持されている。また「駅前空き店舗の活用」が40歳代で2割、「駅前でのイベントの実施」が20歳代で16.7%となるなど、駅前を中心とした商業活性化が比較的多くなっている。

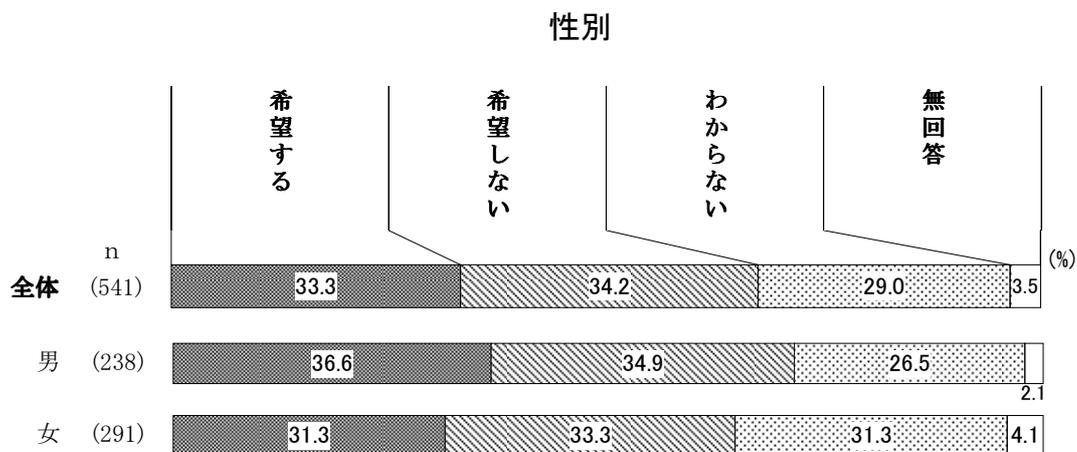
## 11. 市営霊園

### (1) 市営霊園の使用希望

問22 市では、市営霊園を拡張する計画があり、拡張にあたっては、皆様の希望を取り入れて整備を行いたいと考えております。あなたは、市営霊園を拡張した際には使用を希望しますか。次の中から選んでください。(〇は1つ)

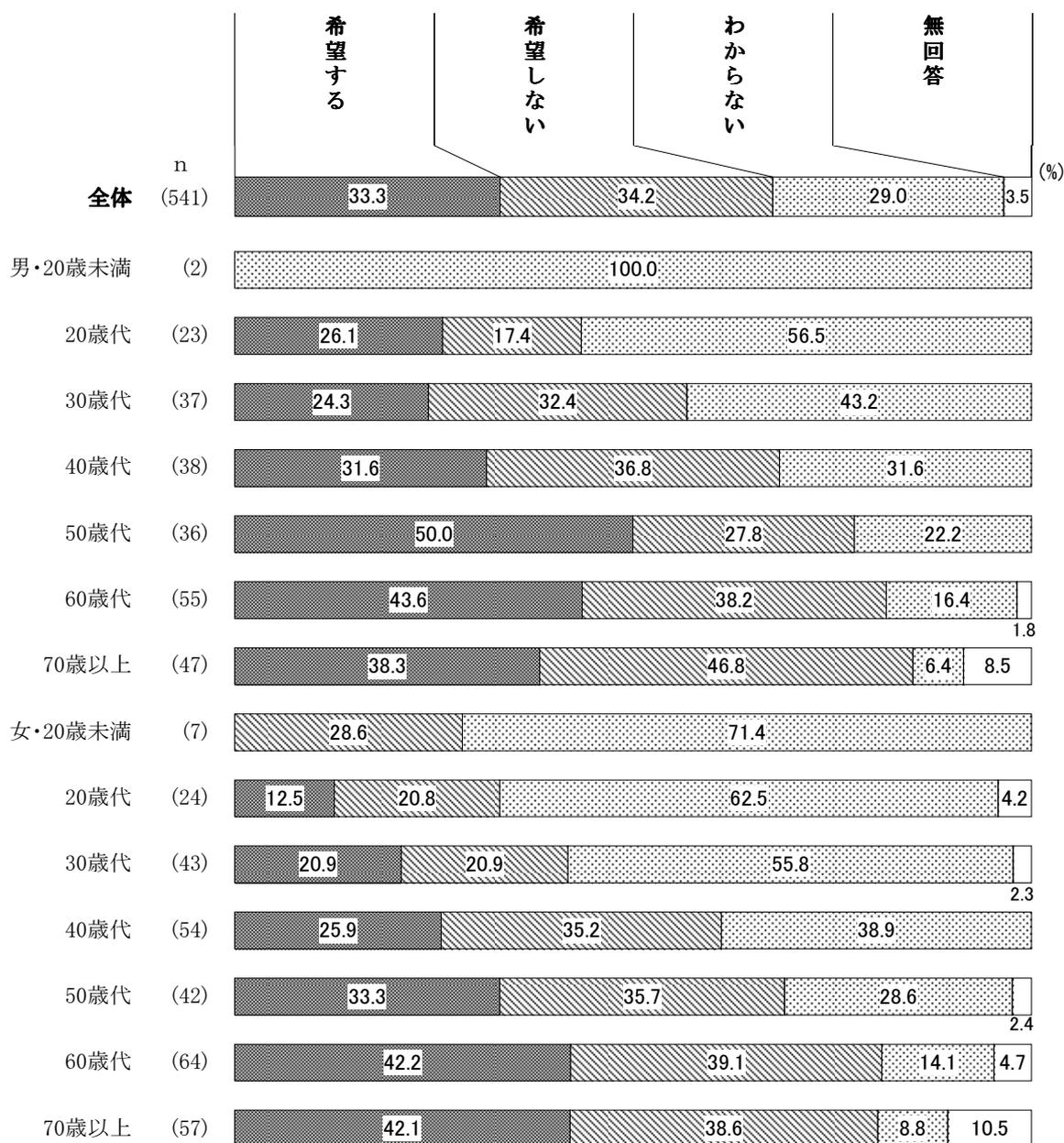


市営霊園を拡張した際の使用希望は、「希望する」が33.3%、「希望しない」が34.2%となっている。



性別にみると、「希望する」は男性 (36.6%) が女性 (31.3%) を5ポイント上回っている。

## 性・年代別

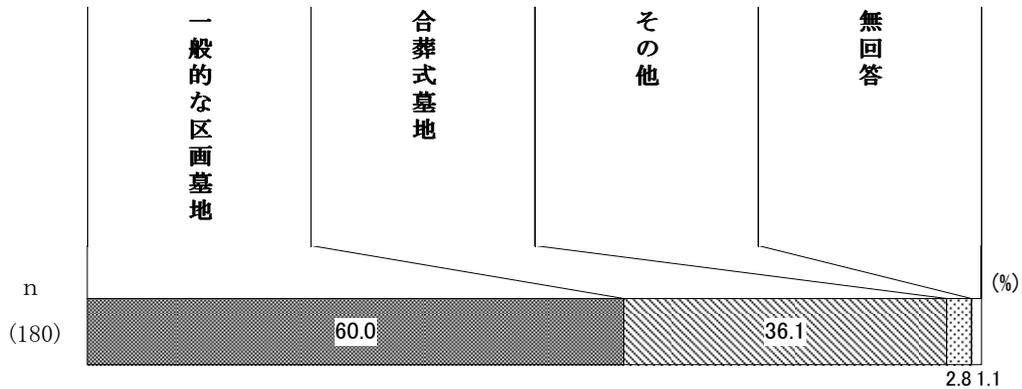


性・年代別にみると、「希望する」は男性の50歳代で半数、男性の60歳代と女性の60歳代以降で4割台と多くなっている。「希望しない」は男性の70歳以上で46.8%と多い。女性は年代があがるにつれ割合が増加し、60歳代以降で4割弱となっている。

(2) 希望する墓地形態

【問22の「希望する」の該当者】

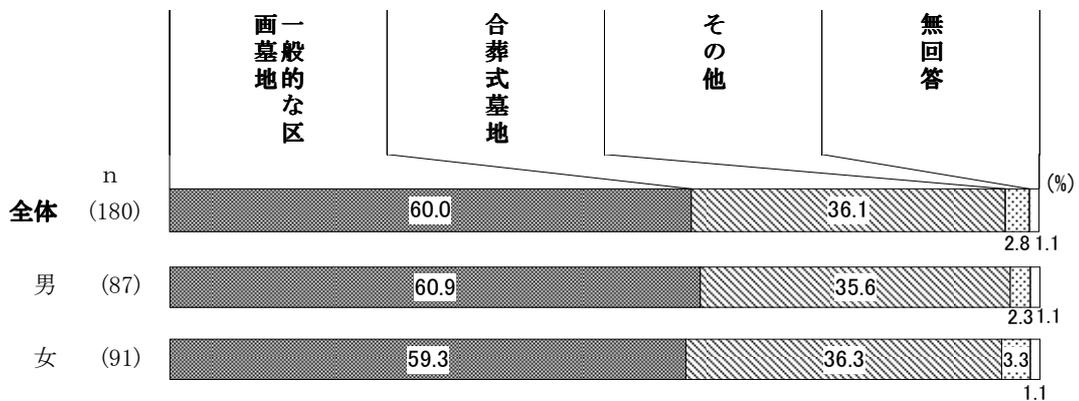
問23 希望する墓地の形態を次の中から選んでください。(○は1つ)



問22で市営霊園を拡張した際の使用を希望する人の希望墓地形態は、「一般的な区画墓地」が60.0%、「合葬式墓地\*1」が36.1%となっている。

\* 1) お墓の継承者（跡を継ぐ人）がいない方なども利用できるよう、一つの大きなお墓に多数のお骨を一緒に納め、市が永年管理する墓地

性別

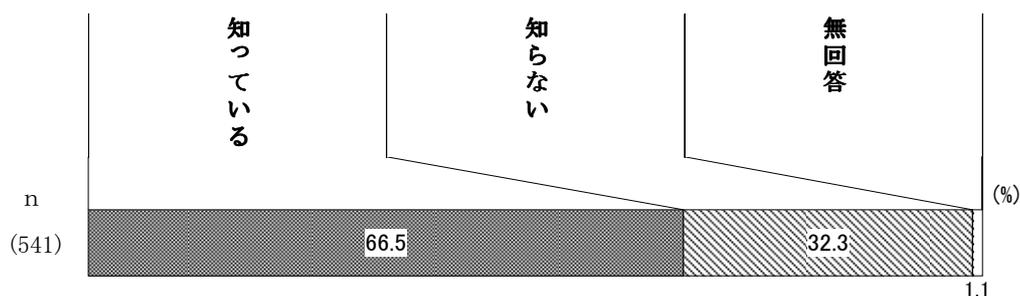


性別では、特に大きな差はみられない。

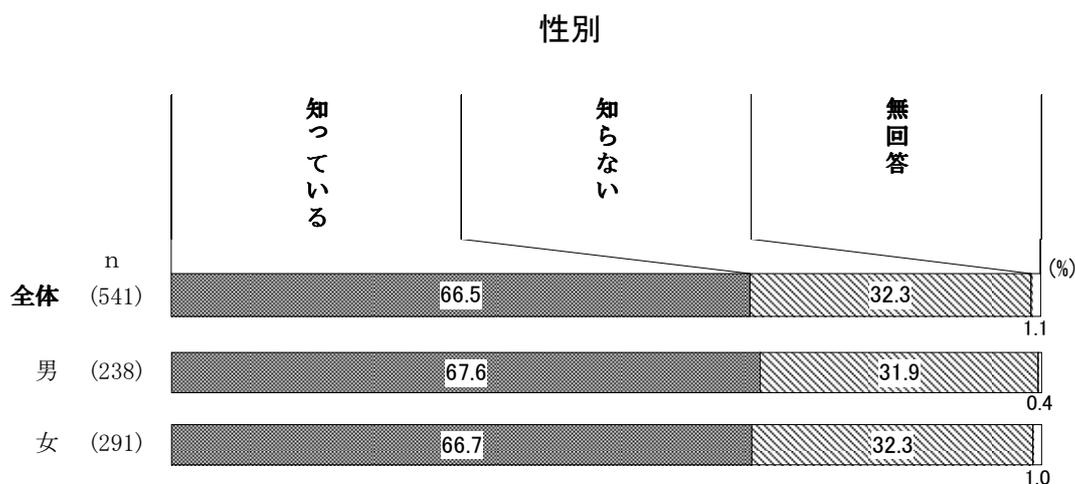
## 12. 水道事業

### (1) 市水道事業の水源の周知度

問24 羽村市の水道事業は、昭和36年に通水を開始して以来、今年度で50年を迎えますが、その間、安全でおいしい水道水の供給に努めています。あなたは、羽村市の水道事業が市単独の事業であり、水源が地下水100%であることをご存知ですか。次の中から選んでください。(○は1つ)

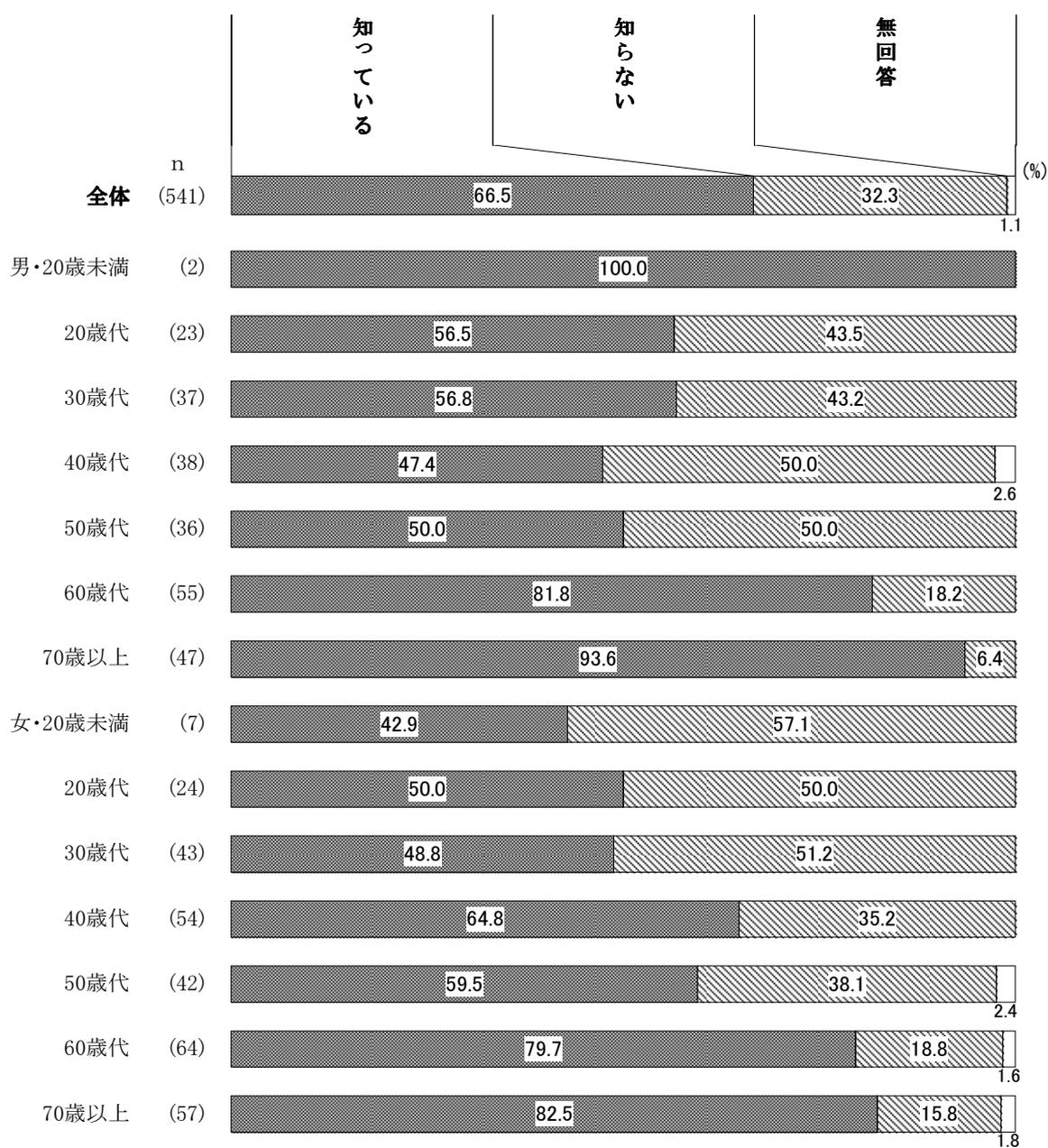


羽村市の水道事業が市単独の事業であり、水源が地下水100%であることについては、「知っている」が66.5%、「知らない」が32.3%となっている。



性別では、特に大きな差はみられない。

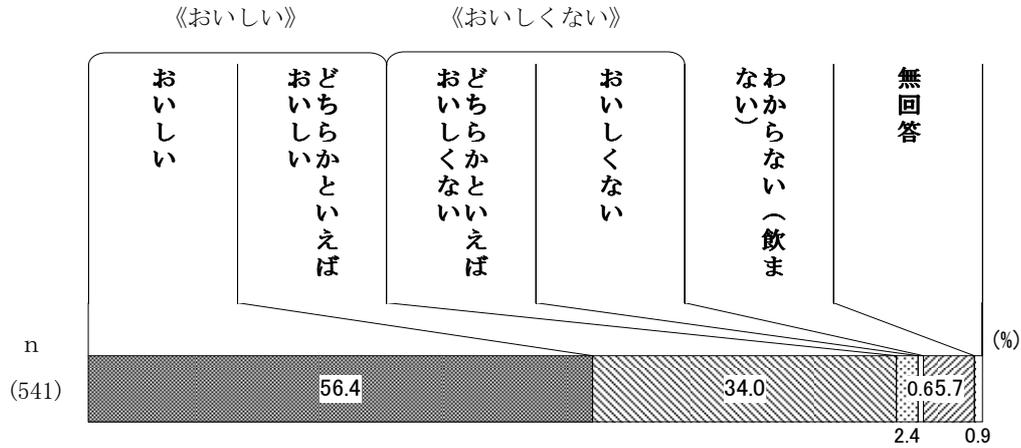
### 性・年代別



性・年代別にみると、「知っている」は男性の70歳以上で9割を超え、男性の60歳代、女性の60歳代以降でも8割前後と多くなっている。一方、「知らない」は男性の40歳代から50歳代、女性20歳代から30歳代で5割以上となっている。

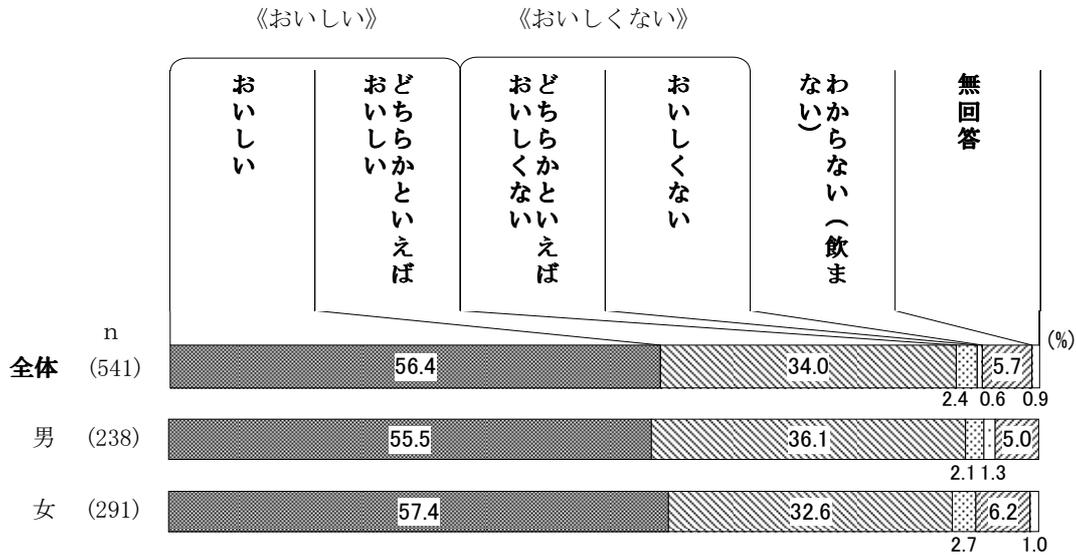
## (2) 市水道水の印象

問25 羽村市の水道水の印象を、次の中から選んでください。(○は1つ)



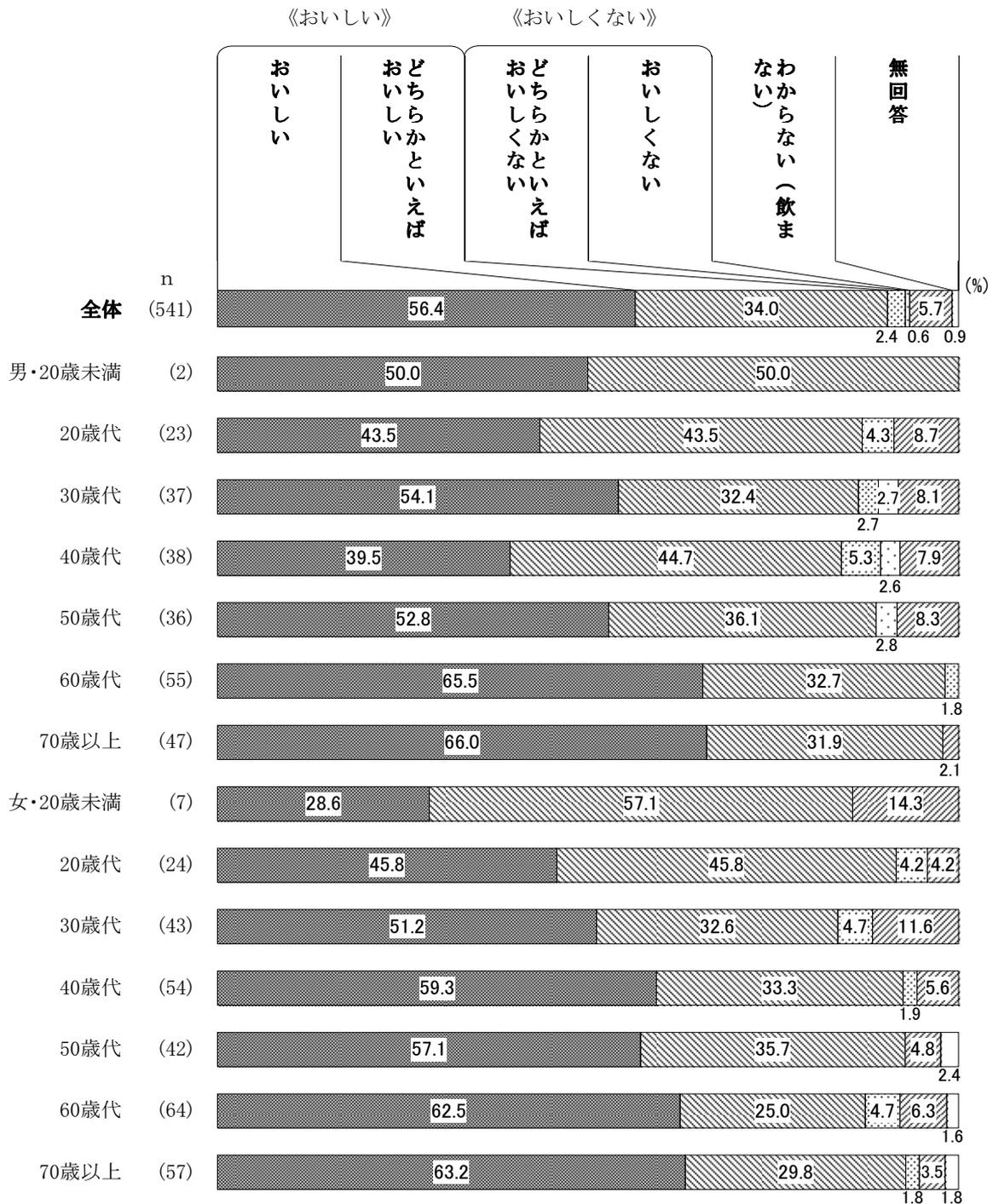
羽村市の水道水の印象は、「おいしい」が56.4%、「どちらかといえばおいしい」が34.0%で、これをあわせた《おいしい》は90.4%となっている。

### 性別



性別では、特に大きな差はみられない。

## 性・年代別

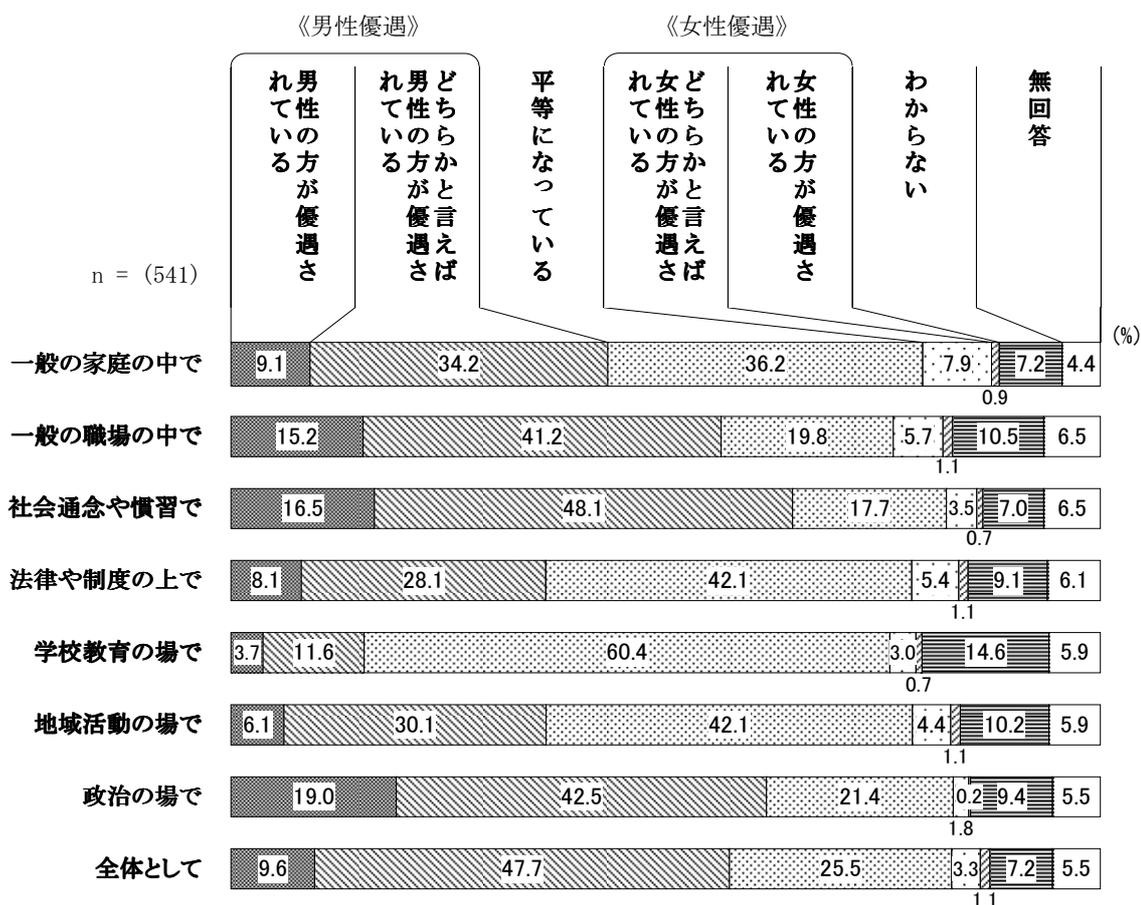


性・年代別にみると、《おいしい》は男性ではいずれの年代でも8割以上となっており、60歳代以降で全数近くとなっている。女性もいずれの年代でも8割以上となっており、40歳代から50歳代、70歳以上で9割台となっている。

### 13. 男女共同参画

#### (1) 各分野における男女平等感

問26 あなたは、次のア～クにあげるような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。それぞれの項目について、あなたの感じ方に最も近いものを選び、○をつけてください。



各分野における男女の平等感について聞いた。「平等になっている」は、「学校教育の場で」が60.4%と多く、「法律や制度の上で」、「地域活動」（ともに42.1%）が4割台となっている。平等感が最も低いのは、「社会通念や慣習で」で17.7%となっている。

《男性優遇》（「男性の方が優遇されている」＋「どちらかといえば男性の方が優遇されている」）は、「社会通念や慣習で」（64.6%）、「政治の場で」（61.5%）で6割台、「全体として」（57.3%）、「一般の職場の中で」（56.4%）でも5割台となっている。一方、《女性優遇》はいずれも1割以下と少ない。



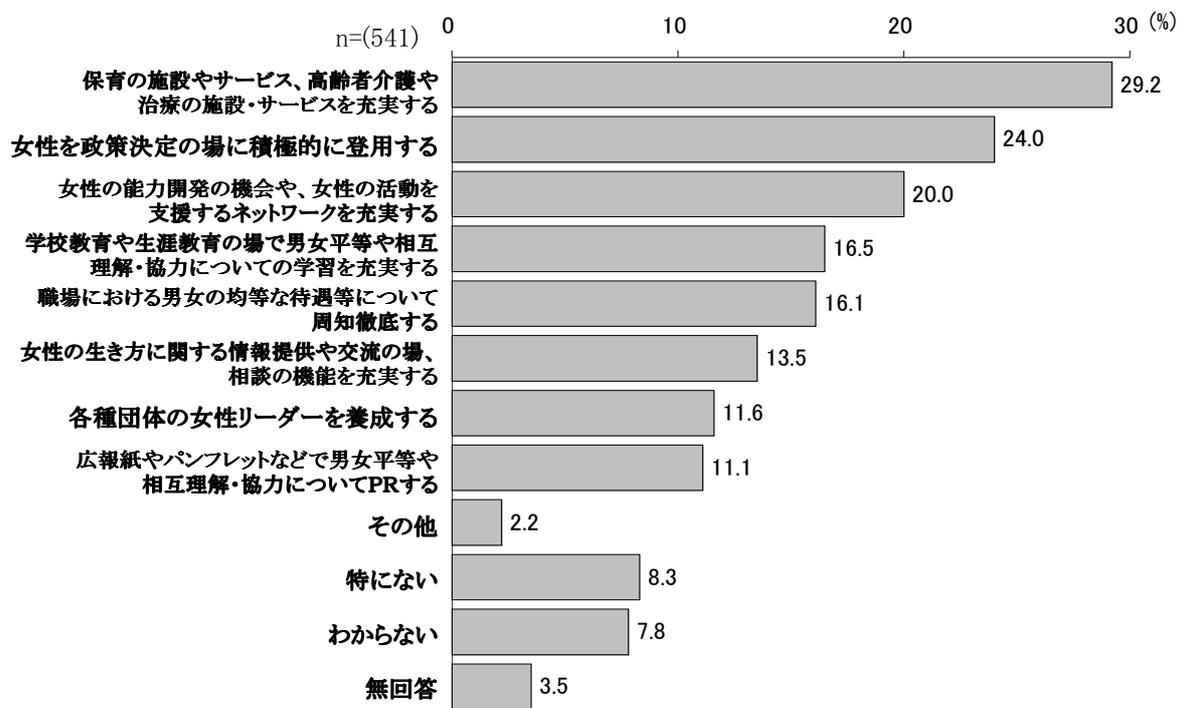


“全体として”を性別にみると、「平等になっている」は男性の32.4%に対して、女性では20.6%にとどまり、男女の認識の違いが顕著である。

性・年代別にみると、男性の20歳代では「平等になっている」が52.2%と唯一半数を超えている。また、女性の20歳代でも41.7%と比較的多くなっている。しかし、20歳代においても《男性優遇》の男女の認識の差は大きい。《男性優遇》はいずれの年代でも男性よりも女性で多く、特に30歳代から50歳代で男女の認識のギャップが大きくなっている。

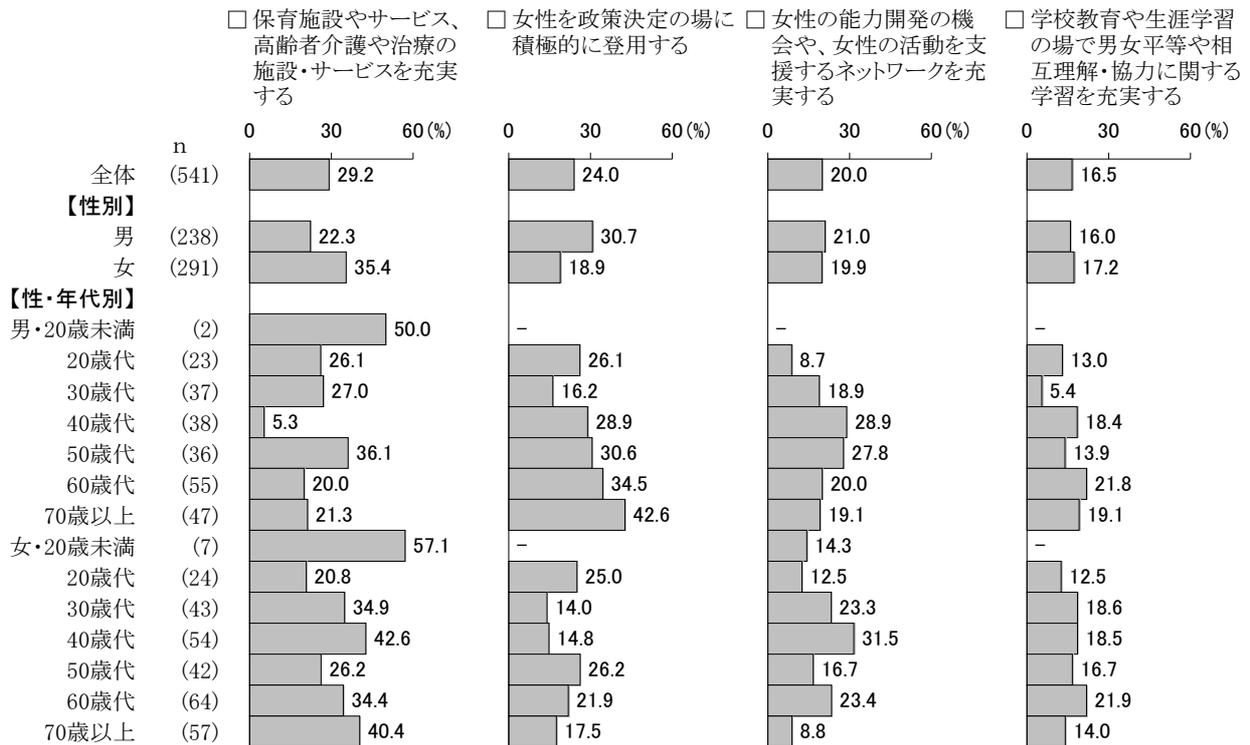
## (2) 男女共同参画社会を形成するために力を入れていくべきこと

問27 羽村市は男女共同参画都市を宣言し、男女共同参画社会を形成するために様々な施策を実施していますが、今後さらにどのようなことに力を入れていくことが必要だと思いますか。次の中から2つまで選んでください。(〇は2つまで)



男女共同参画社会を形成するために力を入れていくべきことは、「保育施設やサービス、高齢者介護や治療の施設・サービスを充実する」が29.2%で最も多く、以下、「女性を政策決定の場に積極的に登用する」(24.0%)、「女性の能力開発の機会や、女性の活動を支援するネットワークを充実する」(20.0%)、「学校教育や生涯教育の場で男女平等や相互理解・協力についての学習を充実する」(16.5%)、「職場における男女の均等な待遇等について周知徹底する」(16.1%)などが続いている。

## 性別、性・年代別（上位4項目）



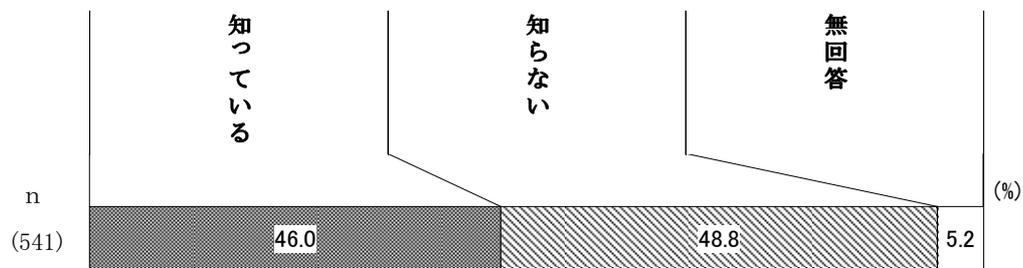
性別にみると、「女性を政策決定の場に積極的に登用する」は男性（30.7%）が女性（18.9%）を12ポイント、「保育施設やサービス、高齢者介護などの施設・サービスを充実する」は女性（35.4%）が男性（22.3%）を13ポイント上回っている。

性・年代別にみると、「保育施設やサービス、高齢者介護や治療の施設・サービスを充実する」は女性の30歳代から40歳代と60歳代以降が多い。また、男性では50歳代で3割台半ばとなっている。「女性を政策決定の場に積極的に登用する」は男性の40歳代以降で顕著に多く、70歳以上で4割強となっている。「女性の能力開発の機会や、女性の活動を支援するネットワークを充実する」は男性の40歳代から50歳代で3割弱、女性では40歳代で3割強と多い。

## 14. 男女間における暴力

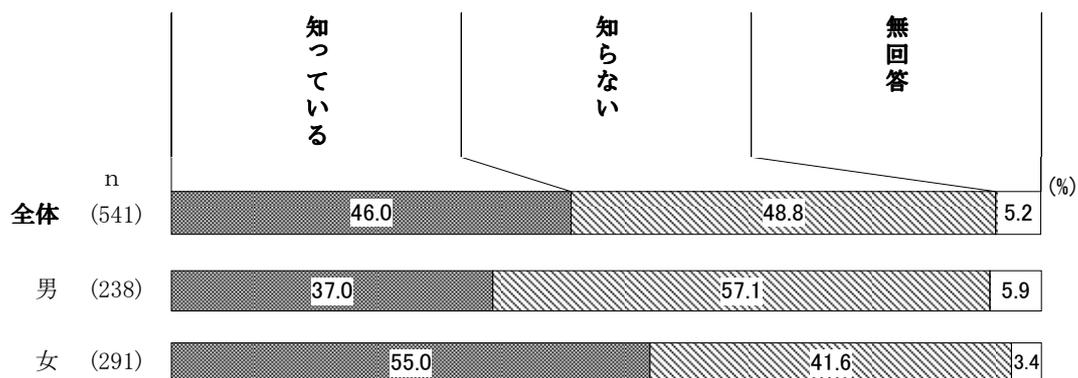
### (1) 配偶者からの暴力について相談可能窓口の周知度

問28 あなたは、配偶者からの暴力について相談できる窓口を知っていますか。次の中から選んでください。(〇は1つ)



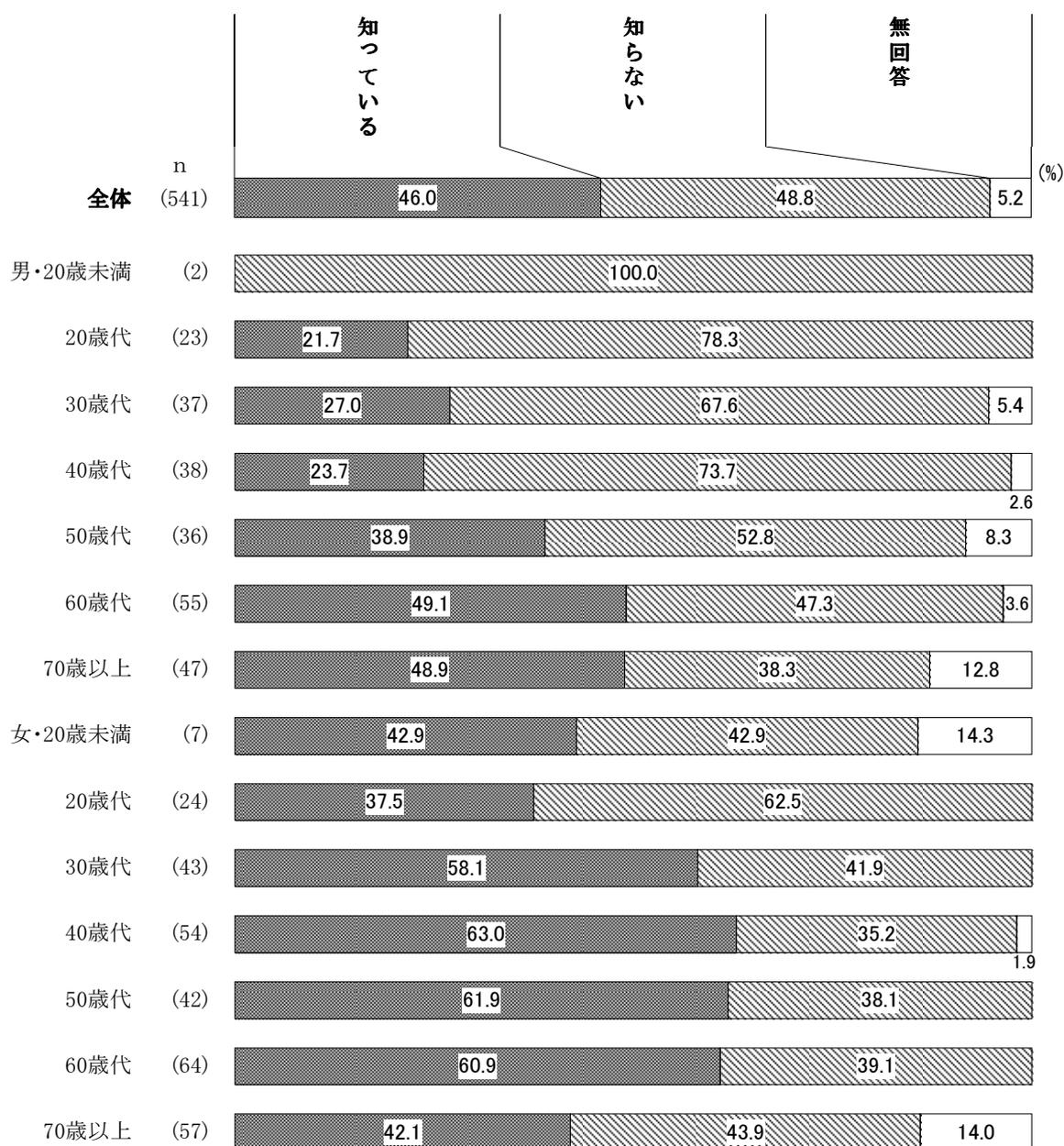
配偶者からの暴力を相談できる窓口の周知度は、「知っている」が46.0%、「知らない」が48.8%となっている。

### 性別



性別にみると、「知っている」は女性では55.0%と半数を超える。一方、男性は37.0%となり、「知らない」(57.1%)が多くなっている。

## 性・年代別

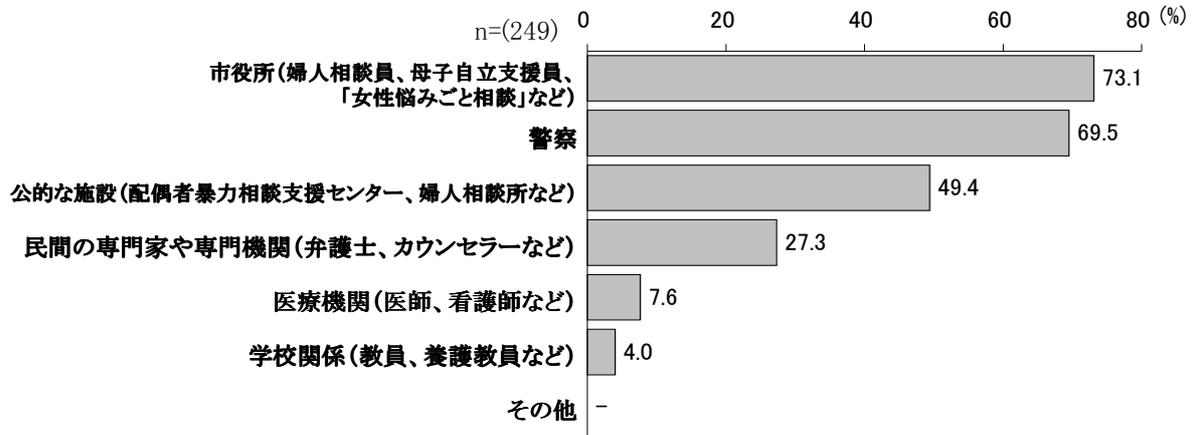


性・年代別にみると、「知っている」は女性の30歳代から60歳代で6割前後と多くなっている。男性では60歳代以降で5割弱、50歳代で4割弱となっている。一方、「知らない」は男性の20歳代と40歳代で7割台、30歳代でも6割台、女性では20歳代で62.5%と多くなっている。

## (2) 知っている相談窓口の種類

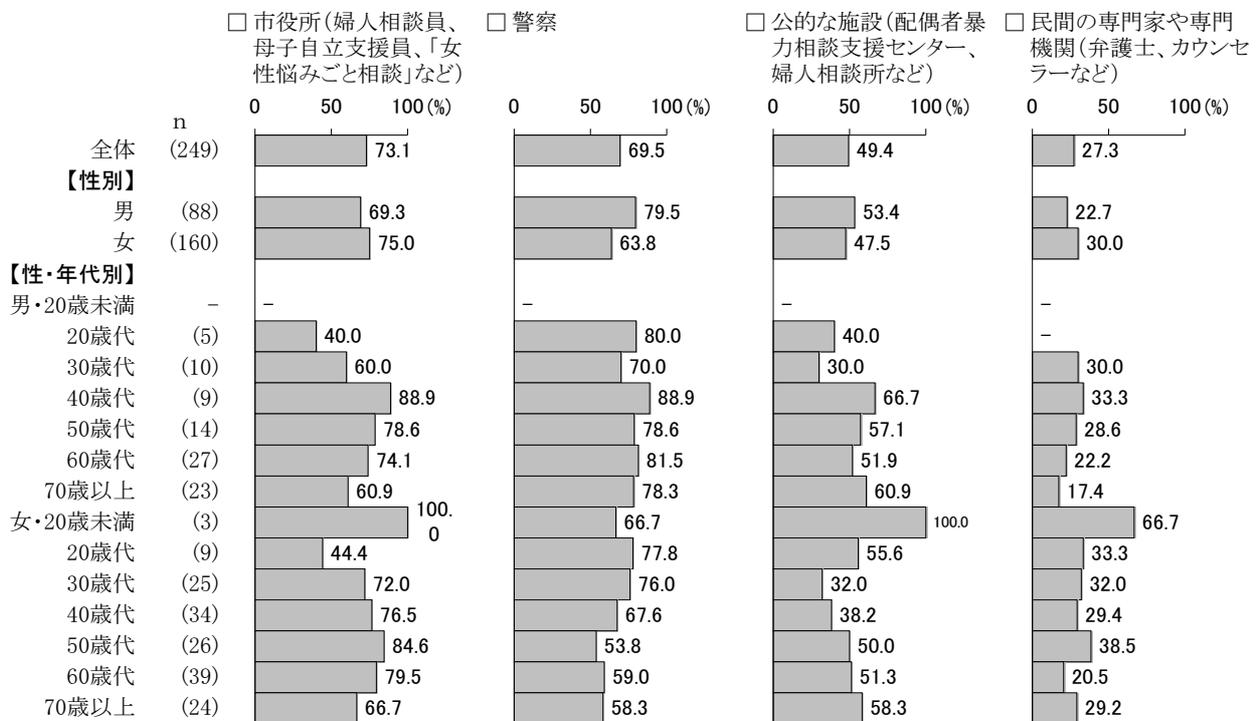
【問28の「知っている」の該当者】

問29 知っている相談窓口を次の中から選んでください。(〇はいくつでも)



問28で配偶者からの暴力を相談できる窓口を知っていると回答した人の知っている相談窓口は、「市役所（婦人相談員、母子自立支援員、「女性悩みごと相談」など）」が73.1%で最も多く、以下、「警察」（69.5%）、「公的な施設（配偶者暴力相談支援センター、婦人相談所など）」（49.4%）と続いている。

### 性別、性・年代別（上位4項目）

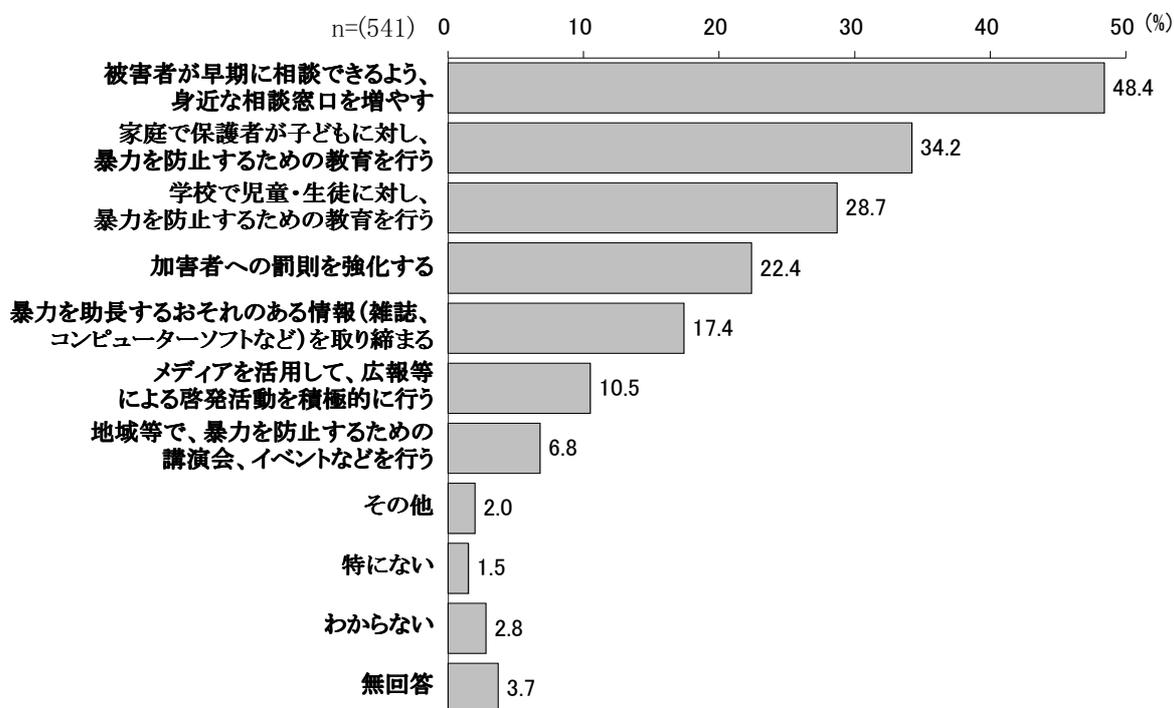


性別にみると、「市役所（婦人相談員、母子自立支援員、「女性悩みごと相談」など）」は女性でより多くあげられている。

性・年代別にみると、「市役所（婦人相談員、母子自立支援員、「女性悩みごと相談」など）」は女性では30歳代から60歳代で7割以上と多く、特に50歳代では8割台半ばとなっている。「公的な施設（配偶者暴力相談支援センター、婦人相談所など）」は女性は50歳代以降で5割台となっているが、30歳代から40歳代では3割台にとどまっている。

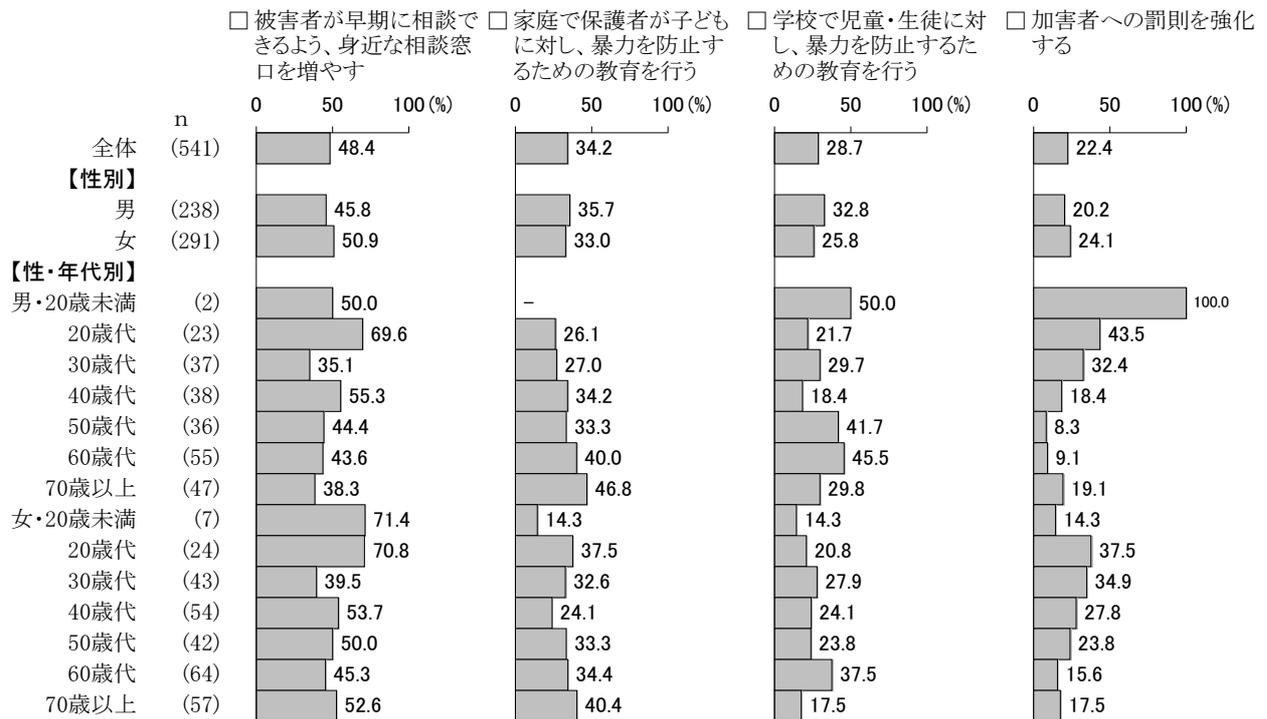
### (3) 男女間の暴力を防止するために必要なこと

問30 男女間における暴力を防止するためには、どのようなことが必要だと考えますか。次の中から2つまで選んでください。(〇は2つまで)



男女間における暴力を防止するために必要なことは、「被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす」が48.4%で最も多く、以下、「家庭で保護者が子どもに対し、暴力を防止するための教育を行う」(34.2%)、「学校で児童・生徒に対し、暴力を防止するための教育を行う」(28.7%)、「加害者への罰則を強化する」(22.4%)が続いている。

## 性別、性・年代別（上位4項目）



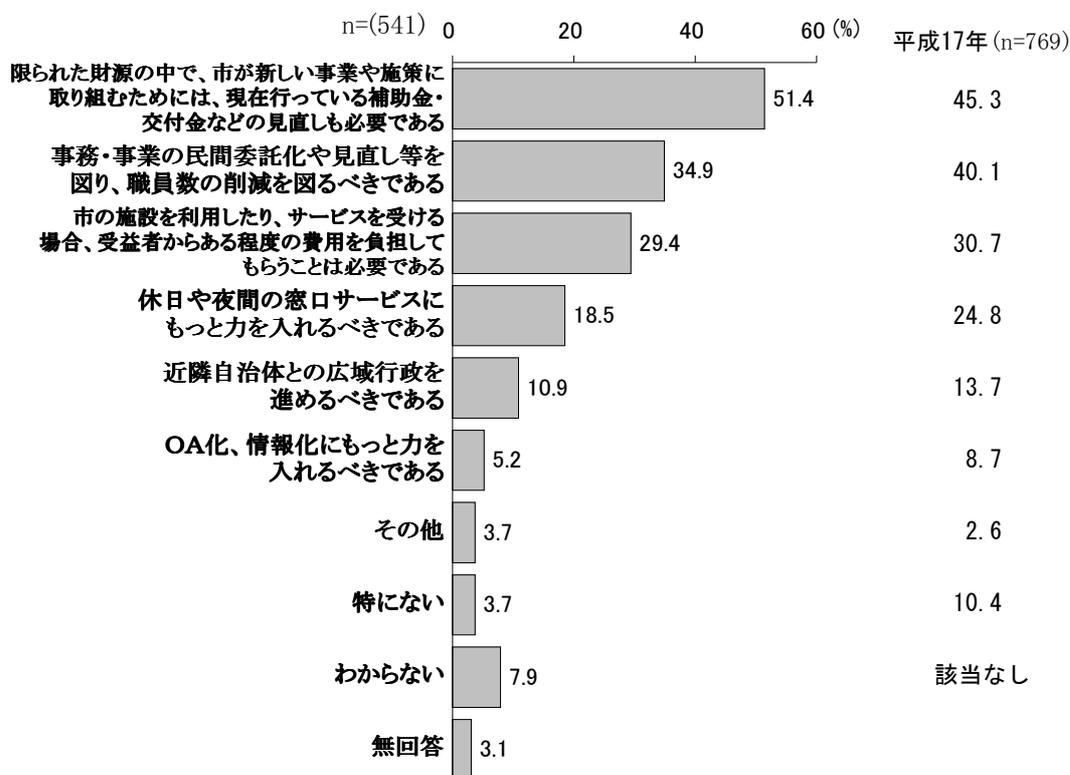
性別にみると、「学校で児童・生徒に対し、暴力を防止するための教育を行う」は男性（32.8%）が女性（25.8%）を7ポイント上回り、「被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす」は女性（50.9%）が男性（45.8%）を5ポイント上回っている。

性・年代別にみると、「被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす」は男女20歳代で7割前後と特に多くなっている。「家庭で保護者が子どもに対し、暴力を防止するための教育を行う」は男性の60歳代以降と女性の70歳以上で4割台、「学校で児童・生徒に対し、暴力を防止するための教育を行う」は男性の50歳代から60歳代で4割台となっている。「加害者への罰則を強化する」は男女とも20歳代で4割前後となっているが、年代があがるにつれ減少している。

## 15. 行政改革

### (1) 今後の行政改革の進め方に対する考え

問31 市は、どのような考え方で行政改革を進めたらよいと考えますか。あなたのお考えに近いものを、次の中から2つまで選んでください。(〇は2つまで)



- \* 「限られた財源の中で、市が新しい事業や施策に取り組むためには、現在行っている補助金・交付金などの見直しも必要である」は、前回調査では、「限られた財源の中で、市が新しい事業や施策に取り組むためには、現在行っている事務・事業や補助金・交付金などの見直しも必要である」
- \* 「事務・事業の民間委託化や見直し等を図り、職員数の削減を図るべきである」は、前回調査では「事業の民間委託化や見直し等を図り、職員数の削減を図るべきである」
- \* 「市の施設を利用したり、サービスを受ける場合、受益者からある程度の費用を負担してもらうことは必要である」は、前回調査では「市の施設を利用したり、サービスを受ける場合、受益者がある程度の費用を負担するのは当然である」
- \* 「わからない」は今回調査から

今後の行政改革の進め方に対する考えは、「限られた財源の中で、市が新しい事業や施策に取り組むためには、現在行っている補助金・交付金などの見直しも必要である」が51.4%で最も多く、以下、「事務・事業の民間委託化や見直し等を図り、職員数の削減を図るべきである」(34.9%)、「市の施設を利用したり、サービスを受ける場合、受益者からある程度の費用を負担してもらうことは必要である」(29.4%)と続いている。

前回調査と比較すると、「限られた財源の中で、市が新しい事業や施策に取り組むためには、現在行っている補助金・交付金などの見直しも必要である」(51.4%)が前回(45.3%)から6ポイント増加している。一方、「休日や夜間の窓口サービスにもっと力を入れるべきである」と「事務・事業の民間委託化や見直し等を図り、職員数の削減を図るべきである」は前回から5ポイント以上減少している。

性別、性・年代別（上位5位表）

(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全体 n=541	補助金・交付金見直し 51.4	職員数削減 34.9	受益者負担 29.4	休日や夜間の窓口サービス 18.5	広域行政 10.9
男 n=238	補助金・交付金見直し 53.4	受益者負担／職員数削減 36.1		休日や夜間の窓口サービス 21.4	広域行政 12.2
女 n=291	補助金・交付金見直し 51.5	職員数削減 35.4	受益者負担 24.7	休日や夜間の窓口サービス 16.8	広域行政 10.3
男・20歳未満 n=2	休日や夜間の窓口サービス／職員数削減／広域行政 50.0				
20歳代 n=23	休日や夜間の窓口サービス 56.5	補助金・交付金見直し 43.5	受益者負担 26.1	職員数削減 17.4	OA化、情報化 13.0
30歳代 n=37	補助金・交付金見直し 48.6	職員数削減 32.4	受益者負担／休日や夜間の窓口サービス 24.3		広域行政 13.5
40歳代 n=38	補助金・交付金見直し 39.5	職員数削減 36.8	休日や夜間の窓口サービス 28.9	受益者負担 21.1	広域行政 18.4
50歳代 n=36	補助金・交付金見直し 61.1	受益者負担／職員数削減 41.7		休日や夜間の窓口サービス 22.2	広域行政 13.9
60歳代 n=55	補助金・交付金見直し 60.0	受益者負担／職員数削減 43.6		休日や夜間の窓口サービス 10.9	広域行政 9.1
70歳以上 n=47	補助金・交付金見直し 61.7	受益者負担 51.1	職員数削減 34.0	広域行政 8.5	休日や夜間の窓口サービス／OA化、情報化 6.4
女・20歳未満 n=7	補助金・交付金見直し 42.9	受益者負担／休日や夜間の窓口サービス 28.6		職員数削減 14.3	
20歳代 n=24	補助金・交付金見直し 45.8	受益者負担／休日や夜間の窓口サービス 25.0		職員数削減 20.8	広域行政 12.5
30歳代 n=43	補助金・交付金見直し 51.2	職員数削減 27.9	休日や夜間の窓口サービス 20.9	受益者負担／OA化、情報化／広域行政 4.7	
40歳代 n=54	補助金・交付金見直し 55.6	職員数削減 31.5	受益者負担 22.2	休日や夜間の窓口サービス 16.7	OA化、情報化 7.4
50歳代 n=42	補助金・交付金見直し 52.4	職員数削減 45.2	受益者負担 33.3	休日や夜間の窓口サービス 19.0	広域行政 11.9
60歳代 n=64	補助金・交付金見直し 57.8	職員数削減 51.6	受益者負担／広域行政 17.2		休日や夜間の窓口サービス 14.1
70歳以上 n=57	補助金・交付金見直し／受益者負担 43.9		職員数削減 28.1	休日や夜間の窓口サービス／広域行政 10.5	

性別にみると、男女ともに同じ項目がほぼ同じ順位であげられている。

性・年代別にみると、「補助金・交付金見直し」は男性20歳代を除き、男女各年代を通じて第1位にあげられている。また、「職員数削減」、「受益者負担」、「休日や夜間の窓口サービス」、「広域行政」も共通して上位となっている。なお、男性の20歳代と70歳以上、女性の30歳代から40歳代では「OA化、情報化」もあげられている。

### 地区・ブロック別（上位5位表）

(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全体 n=541	補助金・交付金の 見直し 51.4	職員数の削減 34.9	受益者負担 29.4	休日や夜間の窓 口サービス 18.5	広域行政 10.9
神明台 n=65	補助金・交付金の 見直し 53.8	職員数の削減 27.7	受益者負担 26.2	休日や夜間の窓 口サービス 16.9	広域行政 10.8
双葉町 n=34	補助金・交付金の 見直し 47.1	職員数の削減 29.4	受益者負担 26.5	広域行政 11.8	休日や夜間の窓口サー ビス/OA化、情報化 5.9
五ノ神 n=36	受益者負担 47.2	補助金・交付金の 見直し 44.4	職員数の削減 27.8	広域行政 16.7	休日や夜間の窓口 サービス 8.3
富士見平・羽 4000番台 n=47	補助金・交付金の 見直し 46.8	職員数の削減 36.2	休日や夜間の窓口 サービス 25.5	広域行政 19.1	受益者負担 12.8
緑ヶ丘 n=60	補助金・交付金の 見直し 68.3	職員数の削減 48.3	受益者負担 31.7	休日や夜間の窓口サービス/ OA化、情報化 6.7	
栄町 n=48	補助金・交付金の 見直し 47.9	職員数の削減 33.3	受益者負担 31.3	広域行政 18.8	休日や夜間の窓口 サービス 12.5
小作台 n=49	補助金・交付金の 見直し 57.1	職員数の削減 38.8	受益者負担/ 休日や夜間の窓口サービス 28.6		OA化、情報化 6.1
羽西 n=22	補助金・交付金の 見直し 59.1	職員数の削減 36.4	受益者負担 27.3	休日や夜間の窓口 サービス 13.6	OA化、情報化/ 広域行政 4.5
羽加美 n=42	補助金・交付金の 見直し 59.5	職員数の削減 28.6	受益者負担/ 休日や夜間の窓口サービス 23.8		広域行政 11.9
羽中 n=44	補助金・交付金の 見直し 47.7	受益者負担 31.8	職員数の削減 27.3	休日や夜間の窓口 サービス 22.7	広域行政 9.1
羽東 n=40	補助金・交付金の見直し/ 職員数の削減 40.0		受益者負担/休日や夜間の窓口サー ビス 27.5		広域行政 15.0
川崎 n=25	補助金・交付金 の見直し 52.0	職員数の削減 48.0	受益者負担 28.0	休日や夜間の窓口 サービス 16.0	広域行政 12.0
玉川・羽 600 ～700番台 n=23	受益者負担 56.5	補助金・交付金の見 直し 39.1	休日や夜間の窓 口サービス 34.8	職員数の削減 26.1	OA化、情報化 4.3

地区・ブロック別にみると、ほとんどの地区・ブロックで「補助金・交付金の見直し」が第1位にあげられている。また、「職員数の削減」、「受益者負担」はすべての地区・ブロックであげられており、上位2位までに「補助金・交付金の見直し」を含む3項目のいずれかがあげられている。なお、五ノ神、玉川・羽600～700番台では「受益者負担」が第1位、羽東で「職員数の削減」も「補助金・交付金の見直し」と同率第1位にあげられるなど、地区・ブロックによる多少の違いもみられる。

## IV 調査票（質問と回答）

# 平成22年度 市政世論調査

## 【調査ご協力をお願い】

日ごろから、市政運営にご理解とご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

さて、このたび羽村市では、今後のまちづくりの指針となる第五次長期総合計画の策定に先立ち、市民の皆様の意見を計画に反映させるため、今後、必要と思われる施策等を抽出して、市政世論調査を実施することといたしました。

ご多忙のところ、ご面倒をおかけしますが、今後の市政運営に必要である大事な調査ですので、ぜひ、ご協力をお願いします。

なお、この調査は、市内にお住まいの満18歳以上の方の中から無作為に1,000名を選ばせていただきました。

また、この調査集計結果は、市のホームページ等で公表させていただきますが、調査は無記名とし、ご回答いただきました内容は、調査目的以外に利用することはありません。

このため、ご回答いただきました皆様にご迷惑をおかけすることはありませんので、ご安心のうえ、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

平成22年5月

羽村市長

並木 心

## 【ご記入にあたって】

- ・封筒の宛名にあるご本人様がお答えください。ご本人様の記入が困難な場合は身近な方がご本人様の意見を聞きながら代筆をしていただいで結構です。
- ・ありのままのお考え、状況をお答えください。
- ・鉛筆または黒のボールペンでご記入ください。
- ・回答が「その他」にあてはまる場合は、お手数ですが、( )内になるべく具体的にその内容をご記入ください。
- ・調査票および封筒には住所・氏名をお書きにならなくて結構です。
- ・調査用紙にご記入のうえ、同封の返信用封筒にて回答期限までにご投函ください。

## 回答期限 6月7日(月)まで

### 【市政世論調査へのお問合せ】

羽村市企画部広報広聴課市民相談係 042-555-1111 内線192・199

今回は、市政世論調査にあわせて、「羽村市の情報化に関するアンケート」(別紙)も実施いたします。

このアンケートは、高度情報化社会の進展に対応した行政運営を推進していくため、市民の皆様にインターネットの利用状況や羽村市の情報化に関するお考えをお聞きし、今後の基礎資料とするために実施するものです。

アンケートについても、上記の【ご記入にあたって】により、ご記入いただき、市政世論調査とあわせて同封の返信用封筒により回答いただきますようご協力をお願いします。

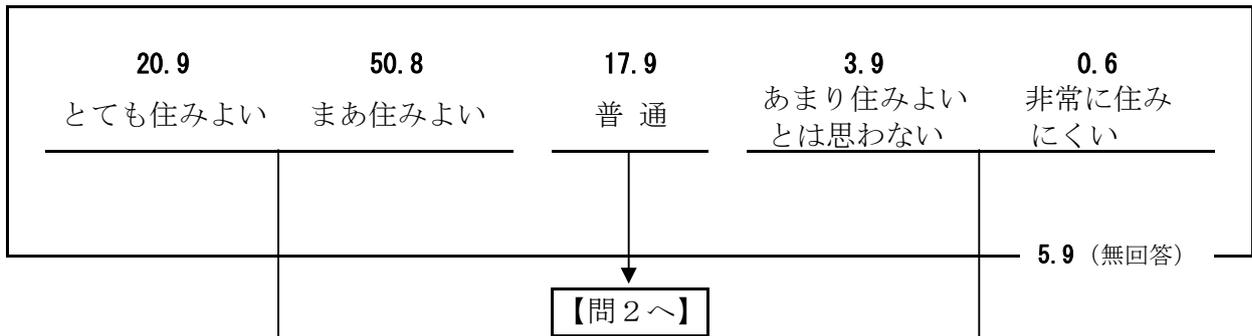
### 【羽村市の情報化に関するアンケートへのお問合せ】

羽村市総務部情報システム課 042-555-1111 内線511～515・517

(1) 定住性と住みよさ

問1 あなたは羽村市を住みよいところだと思いますか。(〇は1つ)

n=541



問1-1 その主な理由は何ですか。(〇は1つ) n=388

- 42.3 自然環境に恵まれている
  - 8.5 交通の便がよい
  - 9.0 公害(騒音・振動・悪臭など)や災害が少ない
  - 22.7 道路や公園、図書館、スポーツセンター等の公共施設が整備されている
  - 4.4 住んでいる人の人情や気風がよい
  - 9.0 買物が便利
  - 3.4 その他
- 【具体的に：  
長年住んでいるから など】
- 0.8 (無回答)

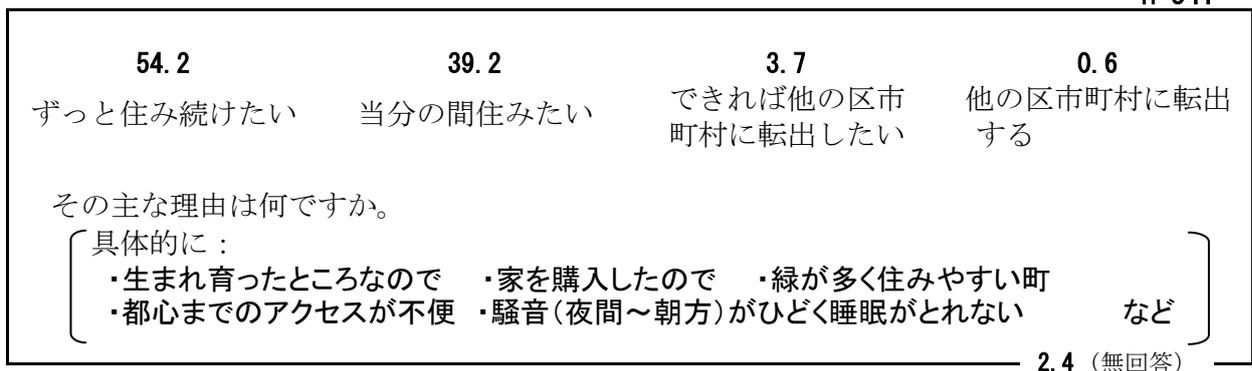
問1-2 その主な理由は何ですか。(〇は1つ) n=24

- 4.2 自然環境が悪い
  - 33.3 交通が不便
  - 25.0 公害(騒音・振動・悪臭など)や災害に悩まされている
  - 8.3 道路や公共施設が不十分
  - 20.8 住んでいる人の人情や気風がよくない
  - 買物が不便
  - 8.3 その他
- 【具体的に：  
住宅事情が悪い など】

《全員の方が回答してください》

問2 あなたは今後も羽村市に住み続けたいと思いますか。それとも市外に転居したいと思いますか。(〇は1つ)

n=541



(2) 市の施策に対する満足度・重要度

問3 羽村市では、第四次長期総合計画において、市の将来像を「～ひとに心 まちに風～いきいき生活・しあわせ実感都市はむら」と定め、5つの基本目標のもとに様々な施策に取り組んでいます。以下の各項目について、満足度、重要度のあてはまるものを、1～4の中からそれぞれ1つ選び、○をつけてください。

n=541

基本目標	○は満足度、重要度にそれぞれ1つずつ→	満足度					重要度				
		満足である	満ちらかいといえ足ば	不どちらかといえ	不満足である	(無回答)	重要である	重どちらかといえ要ば	重どちらかといえい	重要でない	(無回答)
支えあい いきいきと暮らせるまち	小地域ネットワークや福祉のまちづくりなどの地域福祉	9.4	61.9	16.8	3.3	8.5	35.7	47.9	4.4	1.3	10.7
	高齢者がいきいきと安心して暮らせるための高齢者施策	10.4	54.7	22.6	4.8	7.6	54.3	32.2	3.1	0.9	9.4
	障害者が地域の中で安心して暮らせるための施策	8.1	50.8	26.6	3.7	10.7	47.7	35.9	3.7	0.6	12.2
	安心して子どもを産み、育てられる子育て支援	9.1	54.3	21.3	4.3	11.1	55.8	30.9	1.7	0.4	11.3
	生活保護世帯などへの経済給付や自立に向けた支援など	8.3	52.9	22.2	4.6	12.0	29.6	44.2	12.2	2.6	11.5
	介護サービスの情報提供や事業者の資質・モラル向上への支援	6.1	50.1	26.4	3.9	13.5	42.9	39.0	4.4	1.1	12.6
	健全な国民健康保険制度運営のための保険税率の適正化や収納率向上など	5.9	48.4	27.7	5.4	12.6	40.3	42.5	3.5	0.7	12.9
	後期高齢者医療制度の趣旨の普及や制度などのPR・相談	5.5	42.1	33.8	6.1	12.4	35.5	42.1	8.3	1.1	12.9
	国民年金制度の趣旨の普及や制度などのPR・相談	5.5	42.5	31.2	7.6	13.1	38.1	39.7	6.7	2.2	13.3
	市民の健康管理支援や保健サービスの充実などの健康づくり施策	13.9	57.1	16.6	3.0	9.4	40.9	38.4	7.4	1.7	11.6
	医療体制や福生病院の充実に向けた支援	11.1	49.4	23.5	7.6	8.5	53.6	31.6	3.5	0.9	10.4
学びあい 豊かな心を育むまち	人間性豊かな心を育む家庭教育や幼児教育の充実	8.7	49.9	25.1	3.5	12.8	47.1	35.1	3.5	1.5	12.8
	小・中学校での羽村の特色を生かした教育活動や学習環境の充実	8.9	52.3	20.1	4.8	13.9	39.7	39.6	6.3	1.3	13.1
	青少年の社会参加や地域での育成活動支援などの青少年健全育成の推進	11.1	53.0	19.0	3.5	13.3	32.7	42.7	8.9	1.8	13.9
	生涯学習環境の整備（生涯学習センターや図書館等）	21.8	53.8	12.0	2.4	10.0	32.3	43.3	11.1	0.9	12.4
	生涯学習に対する活動支援や学習プログラムの充実	10.0	55.6	18.3	2.8	13.3	25.3	44.4	14.0	2.6	13.7
	新しい羽村文化の創造と国内外の都市との文化交流の推進	7.0	54.2	22.4	2.8	13.7	20.0	39.6	21.3	5.0	14.2
	スポーツ・レクリエーション活動	14.8	56.7	15.5	1.5	11.5	20.3	47.7	16.3	3.1	12.6
環境にやさしい安心して暮らせるまち	羽村の歴史・文化を保護・継承するための学習環境づくり	10.5	58.0	18.5	1.1	11.8	24.4	47.9	12.9	2.4	12.4
	自然環境の保全	22.9	54.5	12.0	2.8	7.8	56.2	29.6	3.5	0.2	10.5
	環境にやさしい公害のないまちづくり	16.8	57.3	13.1	4.3	8.5	58.2	29.0	2.6	0.2	10.0
	ごみの適正処理・リサイクル推進など、地球にやさしい循環型社会の構築	26.2	56.0	10.0	2.4	5.4	58.8	30.3	1.7	-	9.2
災害に強いまちを創るための防災体制の整備充実	12.6	55.5	18.9	3.5	9.6	58.6	29.4	2.2	0.2	9.6	

基本目標	満足度					重要度					
	満足である	どちらかといえれば	どちらかといえれば	不満である	(無回答)	重要である	どちらかといえれば	どちらかといえれば	重要でない	(無回答)	
環境にやさしい安心して暮らせるまち	交通安全対策	9.8	57.3	21.1	4.3	7.6	52.3	35.7	2.0	0.7	9.2
	防犯体制の充実	7.4	50.1	28.7	5.2	8.7	61.2	25.9	2.8	0.2	10.0
	横田基地の航空機騒音の解消や市民生活の安全確保	6.5	33.8	34.6	18.3	6.8	50.1	35.1	5.2	1.3	8.3
美しく快適な住みよいまち	個性的で魅力あふれる都市景観	10.9	51.4	25.1	3.7	8.9	21.8	46.8	16.6	3.9	10.9
	地域特性にあった土地利用の推進	6.8	47.3	29.9	4.6	11.3	23.7	46.6	14.4	2.6	12.8
	区画整理やバリアフリーのまちづくりなど、市街地整備の推進	8.9	45.8	32.5	4.3	8.5	36.8	43.8	7.6	1.5	10.4
	道路の整備状況	12.2	49.7	21.8	8.7	7.6	35.3	45.5	7.6	1.3	10.4
	広域交通（JRなど）や市内の交通網（コミュニティバス「はむらん」など）の充実	18.7	47.7	21.1	6.5	6.1	32.0	43.8	12.0	2.2	10.0
	市内の公園	23.1	52.9	14.6	3.0	6.5	31.4	51.2	6.8	0.9	9.6
	羽村市独自（市単独）の水道事業	31.8	54.0	5.4	0.7	8.1	43.1	40.9	5.0	0.4	10.7
	雨水管渠整備など、公共下水道の整備	20.5	57.5	11.8	1.3	8.9	41.8	43.1	4.8	0.2	10.2
公営住宅などの整備や良好な住環境をつくるための施策	9.2	56.2	21.1	3.3	10.2	24.0	49.0	14.0	1.8	11.1	
活力に満ちたにぎわいのあるまち	工業の振興策	7.6	52.5	24.2	3.5	12.2	29.2	48.1	9.4	0.7	12.6
	商業の活性化や魅力ある商業環境づくり	5.7	44.7	33.1	6.3	10.2	35.3	44.7	7.9	0.7	11.3
	農業の振興と農地の保全	7.2	53.8	24.6	3.1	11.3	34.0	44.5	8.5	1.3	11.6
	観光資源の整備やイベントの充実など、観光事業の活性化	9.1	51.4	25.9	3.0	10.7	20.5	47.0	17.7	3.1	11.6
	消費者への情報提供や相談の充実など、消費生活の向上を支援する施策	7.0	50.8	28.7	3.0	10.5	23.1	54.0	10.5	1.7	10.7
基本構想を推進するために	市民参画・協働の機会拡大や市政情報の提供・公開など、市民と行政が連携したまちづくり	8.1	54.9	22.0	3.3	11.6	26.1	49.9	10.2	1.7	12.2
	わかりやすい広報や市民の声を市政に生かす広聴活動	11.5	51.9	20.5	3.9	12.2	29.0	48.2	8.7	1.5	12.6
	町内会・自治会、市民団体、NPO法人などへの活動支援やコミュニティ施設整備	10.9	54.5	21.1	2.6	10.9	22.7	46.6	16.5	2.0	12.2
	男女共同参画を進めるための施策	5.2	55.6	22.2	2.2	14.8	14.8	42.0	23.7	5.2	14.4
	国際感覚を持った人材育成や国際交流の推進、外国人も暮らしやすいまちづくり	7.0	53.0	22.6	2.8	14.6	15.0	46.4	20.0	5.2	13.5
	電子自治体構築などの行政サービスの情報化、セキュリティ対策、個人情報保護	7.4	54.2	22.7	2.2	13.5	30.7	44.5	10.4	1.7	12.8
	行政改革や窓口業務の拡大、広域行政の推進など、効率的な行政運営	9.1	54.9	19.2	2.6	14.2	29.4	45.8	10.0	0.9	13.9
	長期的展望に立った財源の安定的確保と合理的・効率的な財政運営	7.4	48.4	24.0	5.9	14.2	46.0	35.5	4.6	0.9	12.9
	羽村市役所等、羽村市の公共施設職員の窓口対応	18.3	53.2	15.2	5.0	8.3	41.4	42.1	4.8	1.1	10.5

(3) 羽村市の魅力・羽村らしさ

問4 羽村市の施設や行事の中で、あなたが魅力や羽村らしさを感じるものはどれですか。次の中から2つまで選んでください。(〇は2つまで)

n=541

48.1	羽村の堰	0.2	風のおわら
18.3	玉川上水	7.6	羽村市産業祭
10.0	多摩川	0.9	羽村市文化祭
18.9	動物公園	1.7	市民体育祭
3.3	生涯学習センター「ゆとろぎ」	0.2	総合体育大会
3.0	図書館	1.7	どんど焼き
1.7	郷土博物館	15.2	地下水100%の水道水 (ペットボトル水「水はむら」)
1.5	スポーツセンター	0.6	テレビはむら
1.1	スイミングセンター	2.0	コミュニティバスはむらん
2.2	自然休暇村	0.4	その他
0.6	羽村駅前商店街	具体的に: ・まいまいず井戸 ・田園風景と花のある街	
0.4	小作駅前商店街		
9.4	チューリップ畑		
25.0	花と水のまつり (さくらまつり、チューリップまつり)		
6.8	春祭り	2.0	特にない
9.1	はむら夏まつり	0.4	わからない
0.2	はむらふるさとまつり	0.9	(無回答)

問5 将来の羽村市はどのようなまちであってほしいと思いますか。次の中から2つまで選んでください。(〇は2つまで)

n=541

43.3	防災・防犯や交通安全に配慮した安心して暮らせるまち
32.2	安心して子育てができるまち
44.7	高齢者や障害者が住みなれた地域で安心して暮らせるまち
15.2	公害がなく、ごみ減量・リサイクル化が進んだ環境に配慮したまち
9.4	商工業や観光が活性化され、多くの人が集まるにぎわいのあるまち
33.1	緑豊かな美しい景観のまち
4.6	文化活動やスポーツ活動が盛んなまち
4.8	地域の活動やボランティア活動をはじめ、市民活動が盛んなまち
1.3	その他(具体的に: 高齢者ばかりでなく、若者の居場所を作って欲しい など)
1.1	今のままでよい
0.4	わからない
1.1	(無回答)

**(4) 市政への関心度**

問6 あなたは市政にどの程度関心をもっていますか。次の中から選んでください。(〇は1つ)

n=541

- |                |               |
|----------------|---------------|
| 18.1 大いに関心がある  | 15.5 あまり関心がない |
| 40.3 やや関心がある   | 3.5 全く関心がない   |
| 20.9 どちらともいえない | 1.7 (無回答)     |

問7 市の施策の中で今後、あなたが市に特に力を入れてほしいと思う施策、新たに取り組んでもらいたい施策はどんなことですか。次の中から3つまで選んでください。(〇は3つまで)

n=541

- |                      |                        |
|----------------------|------------------------|
| 50.6 高齢者対策           | 20.1 防犯対策              |
| 8.9 障害者福祉            | 0.7 テロ対策               |
| 4.4 生活保護世帯等の福祉対策     | 7.8 区画整理等による市街地の整備     |
| 6.8 少子化対策            | 6.7 道路の整備              |
| 21.1 子育て支援対策         | 4.1 公園の整備              |
| 18.7 健康診査などの保健衛生対策   | 0.4 上・下水道の整備           |
| 31.2 医療機関の充実に向けた支援   | 3.3 住宅対策               |
| 12.6 学校教育の充実         | 9.6 商工業の活性化            |
| 5.9 児童青少年の健全育成       | 5.2 物価・消費者対策           |
| 3.5 スポーツ・レクリエーションの振興 | 1.5 コミュニティ活動の推進        |
| 4.3 生涯学習の推進          | 0.4 男女共同参画などの推進        |
| 4.6 文化・芸術の振興         | 0.9 情報化の推進             |
| 13.5 環境保全対策          | 1.7 その他                |
| 6.3 緑化対策             | (具体的に：地元羽村で働き暮らす環境 など) |
| 6.3 ごみ対策             | 1.3 特にない               |
| 5.9 防災対策             | 0.9 わからない              |
| 4.4 交通安全対策           | 0.9 (無回答)              |

問8 市では、「市政への市民参画・市民との協働」を進めていますが、あなたは、どのような形で市政に参加・協働したいと思いますか。次の中から選んでください。(〇は1つ)

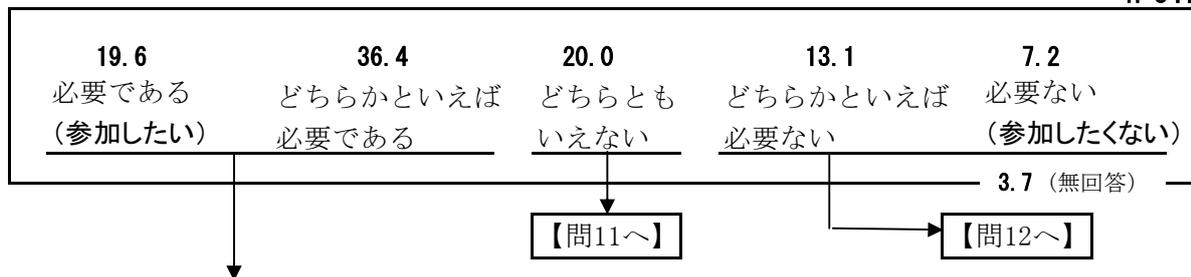
n=541

- |                        |                                 |
|------------------------|---------------------------------|
| 5.5 市長への手紙などの制度        | 6.5 捨て看板除却や市民生活安全パトロールなどのボランティア |
| 6.5 市長とトークなどの懇談会       | 1.7 その他                         |
| 6.3 まちづくりフォーラムなどの対話集会  | (具体的に：ゴミ拾い など)                  |
| 9.1 公聴会                | 12.0 参加をためらっている                 |
| 1.3 事業実施のための実行委員会      | 6.7 参加したくない                     |
| 2.2 公募による審議会などの委員      | 25.3 わからない                      |
| 5.5 出前講座などへの参加         | 3.0 (無回答)                       |
| 8.5 公園ボランティア等の公共施設管理など |                                 |

(5) 地域社会

問9 現在ある町内会・自治会の必要性、活動への参加についてあなたはどのように考えますか。あなたの考えを次の中から選んでください。(〇は1つ)

n=541



問10 町内会や自治会があった方がよい理由を、次の中から選んでください。(〇は1つ)

n=303

- 32.3 防犯・防災などの必要から
- 53.1 地域が親睦や協力によりまとまりのあるものになるため
- 6.9 住民が地域の問題を自ら解決するため
- 5.6 地域や市からの情報を得るため
  - 市などに陳情するため
- 1.0 その他 (具体的に: 世帯が孤立しないために など )
- 1.0 (無回答)

問11 町内会や自治会の加入を促進するためにはどのような方法が必要であると思いますか。あなたの考えに最も近いものを、選んでください。(〇は1つ)

n=411

- 17.5 町内会・自治会制度のチラシをつくり、未加入者に説明し加入を求める
- 13.9 未加入者の意見を聞くなど話し合いの機会を設ける
- 34.8 町内会・自治会の行事に参加してもらうなど積極的に声かけを行う
- 4.6 未加入でいるとさまざまな不利益があることを示す
- 4.9 集合住宅居住の未加入者には家主から加入促進の協力をしてもらう
- 3.2 その他 (具体的に: 負担がかからないようにして欲しい など )
- 15.6 わからない
- 5.6 (無回答)

【問13へ】

問12 町内会や自治会を必要でないとする理由を次の中から選んでください。(〇は1つ)

n=110

- 7.3 近所づきあいがわずらわしい
- 18.2 役員になりたくない
- 27.3 行事に参加・協力するのが大変
- 15.5 町内会・自治会に加入してもメリットがない
- 8.2 町内会・自治会に加入しなくてもホームページなどにより市の情報が得られる
- 14.5 活動内容に魅力がない
- 5.5 その他 (具体的に: 役所の仕事を押しつけている など )
- 3.6 (無回答)

《全員の方が回答してください》

(6) 環境

問13 市は、環境への取り組みとして何に重点をおくべきと思いますか。  
次の中から2つまで選んでください。(〇は2つまで)

n=541

- 52.9 自然環境の保全
- 26.2 省エネルギーなどの地球温暖化対策
- 18.1 環境教育、意識啓発、情報の提供
- 21.3 緑化の推進
- 16.6 騒音・振動対策
- 9.4 大気汚染対策
- 11.5 水質汚濁対策
- 7.2 ダイオキシン類、トリクロロエチレンなどの有害化学物質対策
- 10.2 排気ガス削減のための交通量制限や道路交通環境の整備
- 1.7 その他(具体的に: 自転車専用路の整備、駐車違反の徹底 など )
- 1.7 特にない
- 2.0 わからない
- 2.2 (無回答)

(7) 高齢者福祉

問14 高齢社会を迎え介護保険をはじめ、高齢福祉サービスの充実が求められている中、市に力をいれてほしい施策を、次の中から2つまで選んでください。(〇は2つまで)

n=541

- 32.9 高齢者の生きがいがいづくりにつながる施策の充実
- 32.0 高齢者の健康づくり・介護予防策の充実
- 30.1 認知症高齢者や寝たきり高齢者への対策の充実
- 34.6 ホームヘルパーやデイサービスなどの在宅福祉サービスの充実
- 33.5 特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設福祉サービスの充実
- 15.9 高齢者が外出しやすいバリアフリーの推進
- 2.2 その他(具体的に: 施設で働く方々への支援も同様に重要と思います。[労働時間、重労働への配慮、給与面での対応等] など )
- 1.3 特にない
- 2.0 わからない
- 1.5 (無回答)

問15 あなたは老後をどのように暮らしていきたいと思いますか。次の中からあなたのお考えに最も近いものを、選んでください。(〇は1つ)

n=541

- 13.7 自分に適した仕事を持ちたい
- 28.3 趣味を深めたり、新しい知識を身につけたい
- 7.2 老人クラブや地域のサークル活動に参加したい
- 31.6 日常生活の中で、家族や友人などとの交流を深めながら暮らしたい
- 7.6 自分が健康なうちは、手助けを必要とする人の力になりたい
- 5.9 あまり他人とはかかわらず、静かに生活をしたい
- 1.3 その他(具体的に: 子どもに羽村の昔話し(民話)を伝えたい など )
- 2.2 わからない
- 2.2 (無回答)

(8) 障害者福祉

問16 市として、今後どのような障害者福祉施策が必要と思いますか。次の中から2つまで選んでください。(〇は2つまで)

n=541

- 27.9 障害者が気軽に相談できる窓口などの充実
- 37.9 障害者の雇用や就労促進につなげる支援の充実
- 18.3 福祉手当や各種助成金など経済給付の充実
- 7.4 障害を補うための補装具や日常生活用具等の給付の充実
- 17.4 グループホームやショートステイ等の生活を支援する施設の充実
- 15.7 福祉サービスの質の向上に向けた支援の充実
- 17.9 ホームヘルパーの派遣やデイサービス等の日中生活の支援
- 14.4 障害のある人と障害のない人の相互理解を深める交流事業などの充実
- 9.1 障害児のための幼児保育や学童クラブの充実
- 1.5 その他(具体的に: 障害のある方の“家族”のケア など )
- 1.8 特にない
- 4.3 わからない
- 2.8 (無回答)

(9) 防災・防犯対策

問17 防災対策の中で市が特に重点をおいて進めるべきだと思うものを、次の中から選んでください。(○は1つ)

n=541

- 4.4 防災訓練の充実・徹底
- 7.0 自主防災組織の拡充・充実
- 18.3 災害時の情報連絡体制の充実
- 22.4 食料や飲料水、毛布などの備蓄品の充実
- 0.6 消防水利の整備
- 5.0 公共施設の耐震化の推進
- 9.8 子どもや高齢者、障害者などの災害に巻き込まれやすい人に対する施設の充実
- 5.9 避難場所や避難道路などの標識・案内の整備
- 12.0 応急医療体制の充実
- 0.7 救援ボランティアの受入れ態勢の充実
- 5.9 広域的な災害時相互応援体制の充実
- 1.3 その他(具体的に: ・耐震化支援 ・市民に救命講習や介護ヘルパー講習等 )  
など
- 1.5 特にない
- 3.0 わからない
- 2.2 (無回答)

問18 防犯対策の中で市が特に重点をおいて進めるべきだと思うものを、次の中から選んでください。(○は1つ)

n=541

- 6.3 交番の増設の要請
- 13.7 交番への警察官の常時配置の要請
- 28.3 パトロールカーによる巡回の強化の要請
- 12.4 防犯協会と連携した地域における防犯体制の充実
- 7.2 市民生活安全パトロールの充実
- 4.4 町内会・自治会を中心にした自主防犯活動の充実
- 5.0 小・中学校PTAなどによる地域での青少年指導、青少年の犯罪防止の充実
- 2.0 防犯座談会の実施などによる市民の防犯意識の向上
- 2.0 各種広報媒体を活用して各種団体等に情報提供を行うことによる防犯意識の高揚
- 10.9 繁華街や公共の場などへの防犯カメラの設置
- 0.9 その他(具体的に: ・街灯の増設 ・夜道の安全確保のため、深夜バスなど設置 )  
など
- 1.7 特にない
- 3.1 わからない
- 2.0 (無回答)

(10) 都市基盤

問19 今後、羽村市の都市基盤の整備をどのように望みますか。次の中から選んでください。(〇は1つ)

n=541

- |                         |                       |
|-------------------------|-----------------------|
| 16.6 市街地の整備（土地区画整理事業など） | 13.7 住宅環境の整備          |
| 21.6 バリアフリーのまちづくり       | 1.3 その他               |
| 7.8 公共施設の計画的整備          | 〔具体的に：<br>自転車専用の道 など〕 |
| 8.9 道路の整備               |                       |
| 13.3 公共交通機関の充実          | 5.5 特にない              |
| 5.2 公園の整備               | 4.4 わからない             |
|                         | 1.7 (無回答)             |

問20 今後、市の道路整備について何を優先すべきですか。次の中から選んでください。(〇は1つ)

n=541

- |                                    |
|------------------------------------|
| 17.7 歩道の段差解消や点字ブロック等のバリアフリー対策      |
| 18.3 広い歩行空間の確保                     |
| 34.0 自転車の通行スペースの確保                 |
| 3.0 街路樹等の緑化対策                      |
| 10.0 電線類の地中化                       |
| 6.5 騒音対策や大気汚染などの環境対策               |
| 1.3 案内標識などの整備                      |
| 2.0 都市環境に配慮したデザインされた道路             |
| 2.2 その他（具体的に：・電線等の地中化 ・狭隘道路の拡幅 など） |
| 3.0 特にない                           |
| 0.9 わからない                          |
| 1.1 (無回答)                          |

問21 今後、活力に満ちた賑わいのある街を目指すため、羽村・小作両駅・市役所通り周辺に必要な施策を、次の中から選んでください。(〇は1つ)

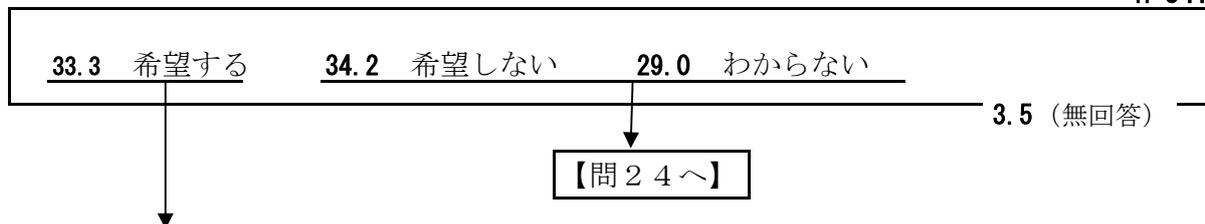
n=541

- |   |
|---|
| 24.2 いろいろな業種の商店が集まるような施策                  |
| 3.5 駅前でのイベントの実施                           |
| 18.3 駐車場や駐輪場の整備                           |
| 3.9 各商店の特徴がわかるような情報提供                     |
| 13.9 駅前空き店舗の活用                            |
| 7.4 商業環境と住居環境の調和を図る施策                     |
| 9.8 広い歩道など買い物がしやすいような道路の整備                |
| 7.9 駅前を明るくするような施策                         |
| 2.2 その他（具体的に： スナック、パブ、風俗店を排除(駅周辺の)すべき など） |
| 4.4 特にない                                  |
| 2.6 わからない                                 |
| 1.8 (無回答)                                 |

(11) 市営霊園

問22 市では、市営霊園を拡張する計画があり、拡張にあたっては、皆様の希望を取り入れて整備を行いたいと考えております。  
あなたは、市営霊園を拡張した際には使用を希望しますか。  
次の中から選んでください。(〇は1つ)

n=541



問23 希望する墓地の形態を次の中から選んでください。(〇は1つ)

n=180



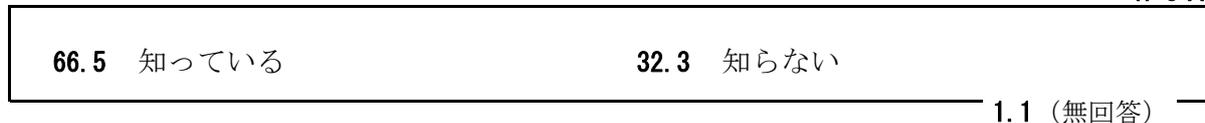
※合葬式墓地とは、お墓の承継者(跡を継ぐ人)がいない方なども利用できるよう、一つの大きなお墓に多数のお骨を一緒に納め、市が永年管理する墓地です。

《全員の方が回答してください》

(12) 水道事業

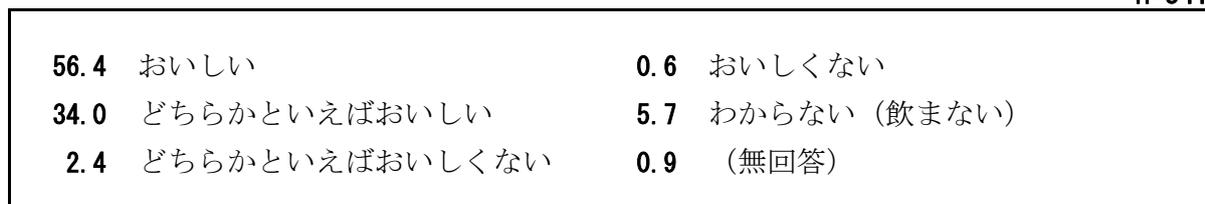
問24 羽村市の水道事業は、昭和36年に通水を開始して以来、今年度で50年を迎えますが、その間、安全でおいしい水道水の供給に努めています。  
あなたは、羽村市の水道事業が市単独の事業であり、水源が地下水100%であることをご存知ですか。次の中から選んでください。(〇は1つ)

n=541



問25 羽村市の水道水の印象を、次の中から選んでください。(〇は1つ)

n=541



(13) 男女共同参画

問26 あなたは、次のア～クにあげるような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。それぞれの項目について、あなたの感じ方に最も近いものを選び、○をつけてください。

n=541

○は1つずつ →	男性の方が優遇されている	どちらかと言えば男性の方が優遇されている	平等になっている	どちらかと言えば女性の方が優遇されている	女性の方が優遇されている	わからない	(無回答)
ア 一般の家庭の中で	9.1	34.2	36.2	7.9	0.9	7.2	4.4
イ 一般の職場の中で	15.2	41.2	19.8	5.7	1.1	10.5	6.5
ウ 社会通念や慣習で	16.5	48.1	17.7	3.5	0.7	7.0	6.5
エ 法律や制度の上で	8.1	28.1	42.1	5.4	1.1	9.1	6.1
オ 学校教育の場で	3.7	11.6	60.4	3.0	0.7	14.6	5.9
カ 地域活動の場で	6.1	30.1	42.1	4.4	1.1	10.2	5.9
キ 政治の場で	19.0	42.5	21.4	1.8	0.2	9.4	5.5
ク 全体として	9.6	47.7	25.5	3.3	1.1	7.2	5.5

問27 羽村市は男女共同参画都市を宣言し、男女共同参画社会を形成するために様々な施策を実施していますが、今後さらにどのようなことに力を入れていくことが必要だと思いますか。次の中から2つまで選んでください。(○は2つまで)

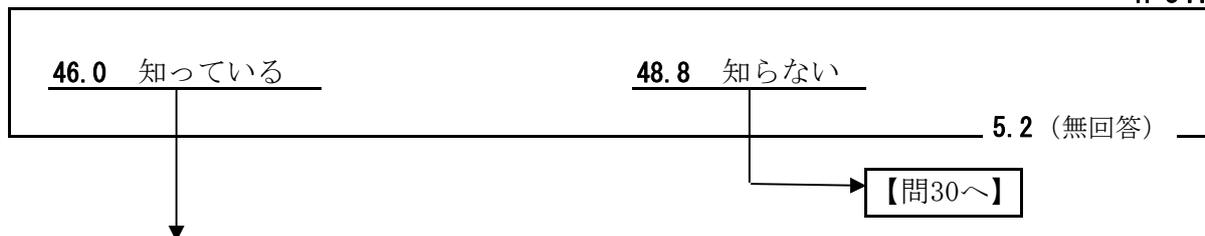
n=541

24.0	女性を政策決定の場に積極的に登用する
11.6	各種団体の女性リーダーを養成する
11.1	広報紙やパンフレットなどで男女平等や相互理解・協力についてPRする
13.5	女性の生き方に関する情報提供や交流の場、相談の機能を充実する
16.5	学校教育や生涯学習の場で男女平等や相互理解・協力についての学習を充実する
29.2	保育の施設やサービス、高齢者介護や治療の施設・サービスを充実する
16.1	職場における男女の均等な待遇等について周知徹底する
20.0	女性の能力開発の機会や、女性の活動を支援するネットワークを充実する
2.2	その他(具体的に: <b>まずは家庭の中から、夫の意識改革が必要</b> など)
8.3	特にない
7.8	わからない
3.5	(無回答)

(14) 男女間における暴力

問28 あなたは、配偶者からの暴力について相談できる窓口を知っていますか。  
次の中から選んでください。(〇は1つ)

n=541



問29 知っている相談窓口を次の中から選んでください。(〇はいくつでも)

n=249

- 73.1 市役所 (婦人相談員、母子自立支援員、「女性悩みごと相談」など)
- 49.4 公的な施設 (配偶者暴力相談支援センター、婦人相談所など)
- 69.5 警察
- 27.3 民間の専門家や専門機関 (弁護士、カウンセラーなど)
- 7.6 医療機関 (医師、看護師など)
- 4.0 学校関係 (教員、養護教員など)
- その他 (具体的に: 該当なし )

《全員の方が回答してください》

問30 男女間における暴力を防止するためには、どのようなことが必要だと考えますか。  
次の中から2つまで選んでください。(〇は2つまで)

n=541

- 34.2 家庭で保護者が子どもに対し、暴力を防止するための教育を行う
- 28.7 学校で児童・生徒に対し、暴力を防止するための教育を行う
- 6.8 地域等で、暴力を防止するための講演会、イベントなどを行う
- 10.5 メディアを活用して、広報等による啓発活動を積極的に行う
- 48.4 被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす
- 22.4 加害者への罰則を強化する
- 17.4 暴力を助長するおそれのある情報 (雑誌、コンピューターソフトなど) を取り締まる
- 2.0 その他 (具体的に: 加害者へのメンタルケア など )
- 1.5 特になし
- 2.8 わからない
- 3.7 (無回答)

(15) 行政改革

問31 市は、どのような考え方で行政改革を進めたらよいと考えますか。あなたのお考えに近いものを、次の中から2つまで選んでください。(○は2つまで)

n=541

- 51.4 限られた財源の中で、市が新しい事業や施策に取り組むためには、現在行っている補助金・交付金などの見直しも必要である
- 29.4 市の施設を利用したり、サービスを受ける場合、受益者からある程度の費用を負担してもらうことは必要である
- 18.5 休日や夜間の窓口サービスにもっと力を入れるべきである
- 34.9 事務・事業の民間委託化や見直し等を図り、職員数の削減を図るべきである
- 5.2 O A化、情報化にもっと力を入れるべきである
- 10.9 近隣自治体との広域行政を進めるべきである
- 3.7 その他(具体的に: 市民の要求に合った改革、本当に困っている人の為に改革は行うべき )
- 3.7 特にない
- 7.9 わからない
- 3.1 (無回答)

<最後に、あなたご自身のことについておたずねします>

次のF 1～F 8までの質問は、アンケートを分析するために必要ですので、必ずご記入ください。

F 1 あなたの性別をお伺いします。(○は1つ)

n=541

44.0	53.8	2.2(無回答)
男	女	

F 2 あなたの年齢をお伺いします。(○は1つ)

n=541

1.7	8.7	14.8	17.0	14.4	22.0	19.4	2.0(無回答)
18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	

F 3 あなたは結婚していますか。(○は1つ)

n=541

72.8	24.8	2.4(無回答)
結婚している	結婚していない	

F 4 あなたの職業(2つ以上の職業をお持ちのかたは主な方)をお答えください。

(○は1つ)

n=541

0.2	農林漁業	者家 ・族 自従 営業 業
5.0	商工サービス業(工場、商店などの個人経営)	
1.3	自由業(開業医、弁護士、作家、僧侶、塾の経営者など)	
7.9	管理職(会社、官公庁、団体の課長以上)	勤 め 人
19.4	事務職・専門技術職(事務員、教員、研究員、病院勤務医師など)	
14.4	技能職・労務職(店員、工員、外交員、運転手など)	
2.8	学 生	無 職
27.7	主 婦	
16.1	その他の無職	
5.2(無回答)		

} → F 5 ~

F 4-1 あなたの通勤地、通学地についてお伺いします。(○は1つ)

n=276

5.8	25.0	52.2	10.9	5.4	0.7(無回答)
自 宅	羽村市内	都内市町村	都内23区内	他 県	

《全員の方が回答してください》

F 5 あなたを含めたお宅の家族人数をお伺いします。(○は1つ)

n=541

7.0	29.6	22.6	25.3	8.9	4.3	2.4(無回答)
1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	

F 6 あなたは、羽村市に住み始めて何年になりますか。(〇は1つ)

n=541

6.3	3年未満	19.8	10年以上20年未満
3.5	3年以上5年未満	61.2	20年以上
8.7	5年以上10年未満	0.6	(無回答)

F 7 あなたのお住まいをお伺いします。(〇は1つ)

n=541

66.9	持家(一戸建)	
10.2	持家(分譲マンション)	
4.4	公営(都、市、公団)の賃貸住宅	
2.4	借家(一戸建)	
13.1	民営アパート、マンション	
1.1	社宅、寮、公務員住宅	
0.4	間借り	
0.9	その他(具体的に: )	
0.6	(無回答)	

F 8 あなたの住所は、どちらですか。(〇は1つ)

n=541

12.0	神明台1~4丁目
6.3	双葉町1~3丁目・川崎番地
6.7	五ノ神1~4丁目
8.7	富士見平1~3丁目・羽4131~4184・五ノ神番地
11.1	緑ヶ丘1~5丁目
8.9	栄町1~3丁目
9.1	小作台1~5丁目
4.1	羽西1~3丁目
7.8	羽加美1~4丁目
8.1	羽中1~4丁目
7.4	羽東1~3丁目
4.6	川崎1~4丁目
4.3	玉川1~2丁目・羽690~744
1.1	(無回答)

ご協力ありがとうございました。  
同封の返信用封筒にて6月7日(月)までにご投函ください。

## 羽 村 市 市 政 世 論 調 査

平成22年 8 月

発 行：羽村市企画部広報広聴課

〒205-8601 東京都羽村市緑ヶ丘 5 丁目 2 番地 1

電 話：042-555-1111（代表）

<http://www.city.hamura.tokyo.jp/>

実 施：株式会社サーベイリサーチセンター

〒116-8581 東京都荒川区西日暮里 2 丁目 40 番 10 号

電 話 03-3802-6711（代表）

<http://www.surece.co.jp/>

この冊子は再生紙を使用しています。

